

岩手県警察本部所管施設管理計画
(個別施設計画)

令和7年12月

岩手県警察本部

岩手県警察本部所管施設管理計画目次

1 はじめに	
(1) 目的	1
(2) 対象施設	1
(3) 計画期間	2
2 基本的な取組方針	
(1) 基本的な取組事項	2
(2) 重点的な取組事項	2
ア 施設保有の最適化に向けた取組	2
イ 施設の長寿命化と経費負担の平準化に向けた取組	2
ウ 環境負荷低減とユニバーサルデザインへの取組	2
エ 施設利用者等の安全・安心の確保に向けた取組	2
3 対象施設の現状把握（所管施設の概況及び老朽化等の状況）	
(1) 一般庁舎	3
(2) 職員宿舎	3
(3) 公共施設カルテ対象施設	4
4 長寿命化等対策の優先順位の考え方	
(1) 施設評価の進め方	5
(2) 施設評価（一次評価（定量評価））	5
(3) 施設評価（二次評価（定性評価））	8
(4) 今後の方向性	9
(5) 総合判定	10
5 施設保有の最適化に向けた取組	
(1) 社会経済情勢等の変化への対応	12
(2) 施設の有効活用（未利用資産の売却等）	13
6 施設の長寿命化と経費負担の平準化に向けた取組	
(1) 長寿命化等対策の概要	13
(2) 施設の目標使用年数・更新周期	13
7 施設利用者の安全・安心の確保に向けた取組	
(1) 効率的な耐震化等対策の実施	14
(2) 高度の危険性が認められた場合の対応	14
8 施設類型ごとの長寿命化等対策の方向性と概算経費等	
(1) 計画期間中における施設の方向性と対策の内容	14
(2) 実施期間中の概算経費	14

1 はじめに

(1) 目的

高度成長期から昭和50年度代を中心に建設された多数の公共施設の老朽化が進んでおり、今後一斉に大規模修繕・更新の時期を迎えること、多額の経費が必要となることが見込まれている中、社会保障関係費の増加や公債費の高水準での推移等により、今後も厳しい財政状況が続くものと見込まれ、また、人口減少や少子高齢化の進行等により公共施設等の利用需要も大きく変化することが見込まれている。

県では、こうした状況を踏まえ、公共施設等の全体状況の把握と計画的な更新や長寿命化、施設配置の最適化による財政負担の軽減、平準化など長期的な視点に立った公共施設マネジメントを策定するため、平成28年3月に「岩手県公共施設等総合管理計画」を策定し、令和7年12月には「第2期岩手県公共施設等総合管理計画」(以下「県総合管理計画」という。)を策定した。

岩手県警察本部所管施設管理計画(以下「本計画」という。)は、県総合管理計画に掲げる基本方針に基づき、長期的な視点に立った公共施設マネジメントの取組を推進するための具体的な計画として警察本部所管施設を対象として策定するものであり、施設の利用状況や建物性能、維持管理コスト等の定量的な情報による一次評価、また、施策上の必要性や代替可能性といった定性的な情報による二次評価を行い、その結果に基づき施設の必要性や大規模施設等整備事業の優先度などを定め、戦略的な維持管理・更新等を推進し、実効的な対策の取組を推進するものである。

なお、これらの評価結果をもって直ちに当該施設の取扱を定めるものではなく、施設をめぐる社会情勢及び本県の財政状況を考慮し、県総合管理計画の趣旨を踏まえて実行していくものである。

(2) 対象施設

令和7年4月1日現在における警察本部所管施設は782棟 183,955.44m²あり、そのうち原則200m²以上の行政財産に区分する庁舎(見前幹部交番、江刺幹部交番以外の交番・駐在所を除く。)及び職員宿舎(以下「庁舎等」という。)を本計画の対象とし、庁舎等に付属する車庫、物置等の付属施設は、個別に対象とせず、本体施設と一体的に整備を検討する。

【警察本部所管施設 (施設類型: 庁舎等) 782棟 183,955.44m²】 (R7.4.1現在)

区分	合計	施設					付属棟				
		小計	庁舎	交番・駐在所	宿舎	体育館	小計	車庫	倉庫	物置	機械室等
全体施設(棟)	782	357	32	192	131	2	425	157	16	169	83
個別計画施設(棟)	129	113	25		86	2	16	16			

※見前幹部交番、江刺幹部交番は庁舎に含む。

※付属棟は本体施設とともに管理する。

【個別施設計画対象施設】

庁舎等: 113施設 129棟 (うち付属棟16棟)

延床面積 146,022.17m² (うち付属棟7,496.89m²)

対象施設		一般庁舎(本部・警察署)		職員宿舎 (共同住宅)
		付属棟		
施設数 (棟数)	113 (129)	27 (27)	— (16)	86 (86)
宿舎戸数	1,034	—	—	1,034
延床面積(m ²)	146,022.17	78,516.43	7,496.89	60,008.85

(3) 計画期間

本計画は、県総合管理計画に基づき対象施設の状況調査の結果をもとに策定したものであり、計画期間は県総合管理計画の計画期間である令和16年度までとするが、施設ごとの具体的な対策は、今後5年間（令和7年度～令和11年度）で取り組むものとする。

また、社会情勢の変化や計画の進捗状況を勘案し、概ね5年を目安に計画を更新することとするが、これにかかるわらず見直しが必要な場合は適宜更新を行う。

2 基本的な取組方針

(1) 基本的な取組事項

建築基準法に基づく定期点検の実施や「岩手県公共施設点検マニュアル」に基づく耐久性・機能性等の点検・確認により施設の状態を把握し、点検結果等に基づいた中長期的な保全計画の策定と実効ある保全の実施に取り組む。

今後、維持管理経費や修繕・更新経費の増大が懸念されることから、施設の状態や利用状況、長寿命化等対策による維持管理コストの縮減効果などを総合的に勘案しつつ、情勢変化を踏まえた施設保有の最適化の検討にも取り組む。

(2) 重点的な取組事項

ア 施設保有の最適化に向けた取組

人口動態など社会情勢の変化に対応し、縮小可能な施設の統合や廃止について検討するなど、情勢の変化に合わせた施設保有の最適化に向けて取り組む。

施設保有の最適化の検討に当たっては、計画的な公共施設マネジメントに取り組む市町村や類似サービスを提供する民間事業者等との役割分担や連携についても検討するとともに、人口動態に対応した施設規模や配置、機能等の適正化に取り組む。

イ 施設の長寿命化と経費負担の平準化に向けた取組

建物性能・劣化度などの状況や利用状況などを総合的に勘案しつつ、今後とも長期間にわたり県警察が所管し、行政サービスを提供することが適当な施設を選別して計画的に長寿命化を実施し、財政負担の軽減を図る。

計画的な維持管理と長寿命化の推進により、対象施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減と財政負担の平準化に取り組む。

ウ 環境負荷低減とユニバーサルデザインへの取組

施設の改修や更新に当たっては、再生可能エネルギー導入の検討や環境に配慮した材料選定、施設の長寿命化による建設廃棄物の発生抑制、照明器具のLED化など環境負荷の低減に取り組むとともに、すべての人が安全で快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインに対応した施設の改修・更新に取り組む。

エ 施設利用者等の安全・安心の確保に向けた取組

計画的な耐震化の推進や定期点検・日常点検の結果に基づく適時、適切な修繕により、施設に求められる機能を維持・強化し、施設利用者等の安全・安心の確保に取り組む。

3 対象施設の現状把握（所管施設の概況及び老朽化等の状況）

(1) 一般庁舎

ア 警察本部各庁舎

対象の9施設（12棟）のうち、昭和56年以前の建築基準で設計された交通機動隊本隊庁舎（昭和47年築）については、経年による建物の劣化、設備の陳腐化及び狭隘化が著しく、現庁舎の長期継続使用が困難であることから、令和10年度までに現在の紫波警察署敷地内において、紫波警察署との一体整備を進めている。

その他の8施設（11棟）については、当面、安全性確保、建物性能維持の観点から緊急度の高い項目について可及的速やかに更新・修繕等を進めつつ、長寿命化に資する計画的な保全に取り組む。

イ 警察署庁舎

対象の18施設（31棟）のうち、江刺幹部交番（刑事部刑事企画課県南B Tと交通機動隊県南分駐隊の合同庁舎：昭和44年築）、紫波警察署（昭和49年築）及び遠野警察署（昭和51年築）の3施設については、経年による建物の劣化、設備の陳腐化及び狭隘化が著しく、現庁舎の長期継続使用が困難であることから、更新整備等の対応が必要な状況になっている。

紫波警察署については、同一敷地内に交通機動隊本隊庁舎との一体整備を進めており、令和7年度から10年度まで建設工事を実施することとしている。

その他15施設（28棟）については、今後の組織検討結果を踏まえた施設整備を前提とし、当面は、安全性確保、建物性能維持の観点から緊急度の高い項目について可及的速やかに更新・修繕等を進めつつ、長寿命化に資する計画的な保全に取り組む。

【構造別、経過年数別内訳】

(R7.4.1現在)

区分	施設区分	施設数	棟数	延床面積	構造	経過年別					
						10年未満	10-19年	20-29年	30-39年	40-49年	50年以上
一般庁舎	警察本部	9	4	20,966.67	R C造				1	2	1
			5	3,865.76	S造	1	2		2		
	警察署	18	17	52,866.88	R C造	3	1	4	2	5	2
			1	817.12	S造			1			
	小計	27	27	78,516.43	R C造	3	1	4	3	7	3
					S造	1	2	1	2		
付属棟	警察本部	-	1	415.55	R C造					1	
			2	732.52	S造				1	1	
	警察署	-	5	1,472.37	R C造			1	1	3	
			8	4,876.45	S造	3	1	2			
	小計	-	16	7,496.89	R C造			1	1	4	
					S造	3	1	2	3	1	
合計		27	43	86,013.32	-	7	4	8	9	12	3

(2) 職員宿舎

警察本部の所管する職員宿舎の対象施設は、86施設（86棟、1034戸）あるが、令和7年4月1日現在で築後50年経過が35施設（458戸）、築後40年経過も28施設（270戸）と対象施設全体の約7割を占めており、一層老朽化が進んでいる状況にある。

当面は、緊急性の高い修繕等を優先的に実施しつつ、効率的、効果的な長寿

命化対策に取り組む。

また、利用状況（入居率）が低調な職員宿舎については、エリア単位で必要数を整理し、老朽化の状況等も加味しながら用途廃止等を進め、維持保全経費の縮減を図る。

併せて、他部局が管理する職員宿舎の相互利用や建替整備等に係る民間資金活用等についても積極的に検討し、財政負担の軽減と平準化に取り組む。

【構造別、経過年数別内訳】

(R7.4.1現在)

区分	戸数	施設数	棟数	延床面積	構造	経過年別					
						10年未満	10-19年	20-29年	30-39年	40-49年	50年以上
職員宿舎	1034	86	81	58,487.17	R C造	4	0	13	6	27	31
			5	1,521.68	C B造					1	4
合計	1034	86	86	60,008.85	–	4	0	13	6	28	35

(3) 公共施設カルテ対象施設

ア 一般庁舎

27施設43棟、延床面積86,013.32m²

イ 職員宿舎

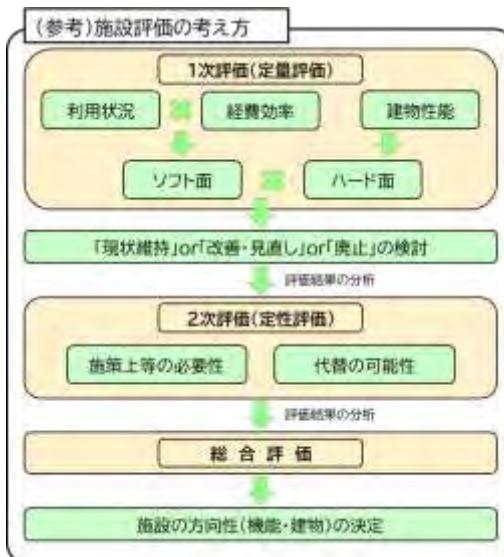
86施設86棟、延床面積60,008.85m²

4 長寿命化等対策の優先順位の考え方

将来の人口減少や今後の財政見通しを踏まえた、公共施設の維持管理及び行政サービスの提供を持続可能なものとしていくため、公共施設の施設規模・総量の適正化に向けた取組・検討を進める。

当該検討に当たって、施設の基本情報や利用状況、維持管理コストなどを把握・整理する必要があることから、施設ごとに「公共施設カルテ」を作成の上、利用状況や建物性能等に関する評価（定量評価）と、施策上の必要性や代替可能性に関する評価（定性評価）をした上で、建物の更新や複合化、長寿命化改修などの対策の優先付けを総合的に評価する。

■施設評価のイメージ



(1) 施設評価の進め方

施設の利用状況、経費効率及び建物性能に関する定量的な情報をもとに一次評価を行った後、施策上等の必要性や代替可能性に関する定性的な要素に係る二次評価を行い、これらを勘案し、総合的に評価を行う。

(2) 施設評価（一次評価（定量評価））

一次評価（定量評価）は、利用状況及び経費効率のソフト面と、建物性能のハード面との2軸を用いて評価する。

ア 「利用状況」及び「経費効率」（ソフト面）の評価

（ア）次の評価基準等に従い評価し、評価点数を集計する。

■利用状況に関する評価（令和5年度実績値による評価）

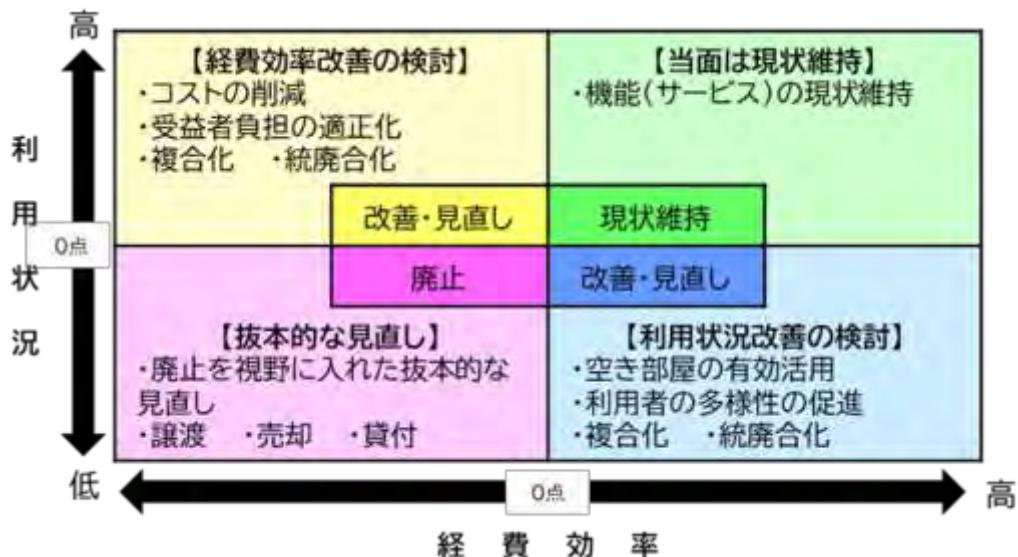
No.	評価項目	評価点数	評価基準
1	年間利用者数	2	過去3か年平均と比較して、増えた
		1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた
		-1	過去3か年平均と比較して、やや減った
		-2	過去3か年平均と比較して、減った
2	利用状況	1	有効的・効果的に活用され、遊休設備や空き部屋はない
		-1	遊休設備や空き部屋がある 稼働率が2割に満たない部屋が2つ以上ある
3	防災関連施設	1	災害時の「緊急避難場所」「避難所」に指定されている施設 災害時に防災拠点として使用する施設

■経費効率に関する評価（令和5年度実績値による評価）

No.	評価項目	評価点数	評価基準
1	年間コスト	1	過去2か年平均と比較して、改善した
		-1	過去2か年平均と比較して、悪化した
2	1m ² 当たりの維持管理費	2	他施設と比較してかなり少ない
		1	他施設と比較して少ない
		-1	他施設と比較して多い
		-2	他施設と比較してかなり多い
3	利用者1人当たりの県負担額	2	他施設と比較してかなり少ない
		1	他施設と比較して少ない
		-1	他施設と比較して多い
		-2	他施設と比較してかなり多い
4	支出に対する直接的収入の割合	2	かなり多い
		1	多い
		-1	少ない
		-2	かなり少ない

(イ) 点数化した利用状況及び経費効率の2軸により類型化により評価し、課題と対応策について整理する。

■施設評価（1次評価・ソフト面）概念図



(ウ) 利用状況及び経費効率の集計点を合計し、ソフト面の評価点数とする。

イ 建物性能（ハード面）の評価

次の評価基準等に従い評価し、評価点数を集計する。

■建物性能に関する評価（令和5年度実績値による評価）

No.	評価項目	評価点数	評価基準
1	耐震性	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
		2	耐震改修不要 (昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要)
		2	耐震改修済 (昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済)
		-2	耐震診断未実施、耐震改修未実施 (昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施・耐震改修未実施)
2	老朽化 (日常点検)	2	点検結果 修繕の必要性低い（危険度：低い）
		1	点検結果 経過観察（危険度：やや低い）
		-1	点検結果 経過観察（危険度：やや高い）
		-2	点検結果 修繕の必要性あり（危険度：高い）
3	老朽化 (改修コスト)	2	点検結果 修繕の必要性がない
		1	軽微な修繕・改修が必要
		-1	中規模な修繕・改修が必要
		-2	大規模な修繕・改修が必要

4	有形固定資産 減価償却率	2	他施設と比較して低い
		-2	他施設と比較して高い

老朽化の判定方法

日常点検による老朽化の判定については、岩手県公共施設点検マニュアルの「日常点検チェックシート」に従い、毎年職員が実施する点検結果により判定された危険度を用いて評価する。

(ア) 危険度の判定

危険度は、下記9項目ごとに「劣化度」と「重要度」により判定する。

■劣化度の判定項目・部位

項目	主な部位
No.1 外構等	① 舗装、側溝
	② 塀、擁壁、門、フェンス
No.2 屋上・屋根	③ 屋根葺き材、防水層
	④ 屋上金物類（手すり、タラップ、雨樋、看板等）
No.3 外壁	⑤ 外壁
	⑥ 屋外階段、給排気口
No.4 外部建具 他	⑦ 外部建具、外部金物類
	⑧ 外部階段、バルコニー
No.5 内部	⑨ 天井、内壁
	⑩ 階段、手すり
No.6 電気設備	⑪ 受変電設備、自家用発電設備
	⑫ 分電盤設備、照明設備
No.7 給排水設備	⑬ 給水設備、排水設備
	⑭ ガス設備
No.8 空調設備	⑮ 暖房・空調・換気設備
No.9 防災設備	⑯ 防火戸、自動火災報知設備
	⑰ 消火設備、排煙設備

9つの項目ごとに異常の有無等(A～C)による点数で、その項目の危険度を判定する。

$$\text{項目の危険度} = \text{劣化度} + \text{重要度}$$

※劣化度…施設の劣化状況を点検し、判断する。

※重要度…建物全体の安全性・機能性の確保に及ぼす影響

(イ) 危険度の算定

$$\text{危険度 100点} = \text{劣化度(60点)} + \text{重要度(40点)}$$

$$\boxed{\text{劣化度}} \text{ 重み付け(12点)} \times \text{劣化度(5.3.1点)} = 60 \sim 12\text{点}$$

$$\boxed{\text{重要度}} \text{ 重み付け(10点)} \times \text{重要度(4.3.2.1点)} = 40 \sim 10\text{点}$$

※ 重み付けとは、評価する項目ごとに、それぞれの重要度に応じて5.3.1などの重みを付け、集計して評価する方法である。

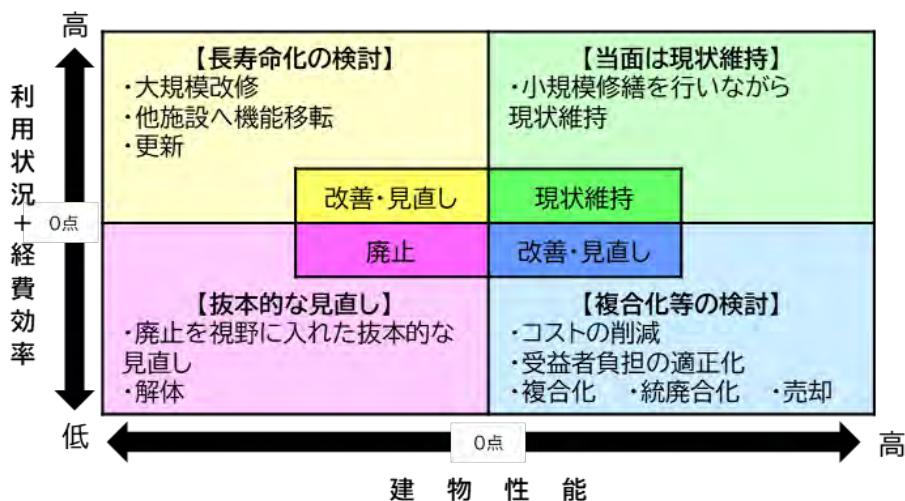
■劣化度・重要度の判定基準等

項目	配点	判断基準
劣化度	5点	著しく劣化が進んだ状態
	3点	少し劣化が進んだ状態
	1点	健全な状態
重要度	4点	特に安全性に関わる
	3点	計画保全にすべき
	2点	計画保全が望ましい
	1点	適正維持管理

9つの項目ごとに危険度を算定し、それらの平均値を「老朽化（日常点検）」の評価点数とします。

(ウ) 「ソフト面」と「ハード面」の2軸評価

利用状況及び経費効率によるソフト面の評価と、建物性能によるハード面の評価を2軸で類型化し、一次評価（定量評価）の結果とする。



(3) 施設評価（二次評価（定性評価））

二次評価（定性評価）は、一次評価の結果を踏まえて「施策上等の必要性」及び「代替の可能性」の観点について、次の評価基準等により評価を行い、それぞれの評価を分析し、二次評価の結果とする。

■施策上等の必要性に関する評価

No.	評価項目	評価	評価基準
1	設置目的の有効性	高	施設の設置目的と現在の利用状況が合致している
		低	施設の設置目的と現在の利用状況が合致していない
2	法令等の設置義務	高	施設の設置が法律により義務付けられている
		低	施設の設置が法律により義務付けられていない
3	施策上の必要性	高	施策の目的を達成するための必要性が高い
		低	施策の目的を達成するための必要性が低い

4	建物の必要性	高	施設の機能（目的）を提供するために建物が必要不可欠
		低	施設の機能（目的）を提供するために建物が必要とは言い難い

■代替の可能性に関する評価

No.	評価項目	評価	評価基準
1	市町村・民間移管の可能性	高	市町村・民間事業者に当該施設を移管することができない
		低	市町村・民間事業者に当該施設を移管することができる
2	他の県有施設との集約化等の可能性	高	他の県有施設との集約化等ができない
		低	他の県有施設との集約化等ができる
3	近隣類似施設による代替の可能性	高	近隣の類似施設へ当該施設の機能を移転することができない
		低	近隣の類似施設へ当該施設の機能を移転することができる

(4) 今後の方向性

一次評価（定量評価）及び二次評価（定性評価）の結果を勘案し、総合的に個別施設の「今後の方向性」を判定する。

「今後の方向性」は、機能と建物の観点から、それぞれ次のとおり整理する。

■機能の方向性

区分	判断基準
現状維持	現在の機能を現在の場所で維持する
機能移転	現在の機能を他の公共施設又は別の場所に移転する
複合化	現在の機能を異なる機能を有する建物とまとめる
集約化	現在の機能を同じ機能を有する建物とまとめる
廃止	現在の機能を廃止する

■建物の方向性

区分	判断基準
現状維持	現在の建物を適正な日常補修を実施し、維持する
更新	現在の建物を更新する（建て替え）
長寿命化改修	現在の建物を築後概ね45年経過時に劣化状況等を総合的に判断し、長寿命化改修（大規模改修）を実施する
耐震診断	現在の建物が耐震診断未実施であるため、耐震診断を実施する
耐震改修	現在の建物が耐震改修未実施であるため、耐震診断を実施する
貸付	現在の建物を民間事業者等へ貸し付ける
解体	現在の建物を解体し、解体後の土地を活用する
売却・移管	現在の建物を土地と併せ市町村や民間事業者等に売却する

■長寿命化対策の優先度評価



機能の方向性と建物の方向性による評価を組み合わせて、更新・長寿命化対策に係る対象経費の平準化を図るための優先順位づけの指標として活用する。

(5) 総合判定

ア 庁舎：27施設、43棟（付属棟16棟含む）、延床面積86,013.32m²

施設No.	施設名称	経過年数 ／耐用年数	評価結果			今後の方向性（たたき台）		
			定量評価 (ソフト面)	定量評価 (ソフト面 × ハード面)	定性評価	機能	建物	長寿命化対策の 優先度評価
1	警察本部	43／50	現状維持	改善・見直し(長寿命化)	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
2	自動車整備工場	12／31	改善・見直し(経費効率)	改善・見直し(複合化等)	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
3	警察音楽隊訓練場	33／38	廃止	改善・見直し(複合化等)	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
4	自動車運転免許試験場	44／50	改善・見直し(利用状況)	改善・見直し(長寿命化)	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
5	県南運転免許センター	36／50	改善・見直し(経費効率)	廃止	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
6	交通機動隊	53／50	廃止	改善・見直し(複合化等)	高	集約化	解体	優先度:低
7	警察航空隊基地	1／38	改善・見直し(経費効率)	改善・見直し(複合化等)	高	現状維持	現状維持	大規模整備不要
8	機動隊道場棟	16／38	現状維持	現状維持	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
9	警察学校体育館	37／38	改善・見直し(経費効率)	改善・見直し(複合化等)	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
10	見前幹部交番・機動捜査隊合同 庁舎	27／38	改善・見直し(経費効率)	改善・見直し(複合化等)	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
11	盛岡東警察署	22／50	改善・見直し(経費効率)	改善・見直し(複合化等)	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
12	盛岡西警察署	38／50	改善・見直し(経費効率)	廃止	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
13	岩手警察署	29／50	現状維持	現状維持	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
14	紫波警察署	51／50	現状維持	改善・見直し(長寿命化)	高	現状維持	更新	優先度1
15	花巻警察署	27／50	現状維持	現状維持	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
16	北上警察署	31／50	現状維持	改善・見直し(長寿命化)	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
17	奥州警察署	41／50	現状維持	改善・見直し(長寿命化)	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
18	江刺幹部交番	55／50	廃止	改善・見直し(複合化等)	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
19	一関警察署	46／50	現状維持	改善・見直し(長寿命化)	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
20	千厩警察署	40／50	現状維持	現状維持	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
21	大船渡警察署	42／50	現状維持	現状維持	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
22	遠野警察署	48／50	現状維持	現状維持	高	現状維持	更新	優先度1
23	釜石警察署・沿岸運転免許セン ター及び交通機動隊沿岸分駐隊	5／50	改善・見直し(経費効率)	改善・見直し(複合化等)	高	現状維持	現状維持	大規模整備不要
24	宮古警察署	7／50	改善・見直し(経費効率)	改善・見直し(複合化等)	高	現状維持	現状維持	大規模整備不要
25	岩泉警察署	28／50	改善・見直し(経費効率)	現状維持	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2
26	久慈警察署・県北運転免許セン ター	3／50	改善・見直し(経費効率)	改善・見直し(複合化等)	高	現状維持	現状維持	大規模整備不要
27	二戸警察署	14／50	現状維持	現状維持	高	現状維持	長寿命化改修	優先度2

イ 職員宿舎：86施設、86棟、60,008.85m²

施設No.	施設名称	経過年数 ／耐用年数	所在地	入居率	評価結果			今後の方向性（たたき台）			
					定量評価 (ソフト面)	定量評価 (ソフト面× ハード面)	定性評価	機能	建物	長寿命化対策の 優先度評価	
1	東松園宿舎	1号棟	52／47	盛岡市	50.0%	改善・見直し(利用状況)	現状維持	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
2	東松園宿舎	2号棟	52／47	盛岡市	91.7%	現状維持	現状維持	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
3	東松園宿舎	3号棟	52／47	盛岡市	0.0%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	廃止	解体	優先度:低
4	東松園宿舎	4号棟	50／47	盛岡市	0.0%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	廃止	解体	優先度:低
5	西松園宿舎	1号棟	48／47	盛岡市	83.3%	現状維持	現状維持	低	廃止	解体	優先度:低
6	西松園宿舎	2号棟	48／47	盛岡市	44.4%	現状維持	現状維持	低	廃止	解体	優先度:低
7	西松園宿舎	3号棟	45／47	盛岡市	58.3%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
8	盛岡地区松園独身寮		43／47	盛岡市	19.2%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
9	川目宿舎	1号棟	54／47	盛岡市	27.8%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	廃止	解体	優先度:低
10	川目宿舎	2号棟	58／47	盛岡市	27.8%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	廃止	解体	優先度:低
11	交通二戸宿舎		53／38	一戸町	25.0%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	廃止	解体	優先度:低
12	高速安代宿舎		43／47	八幡平市	33.3%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
13	高速一戸宿舎	1号棟	38／47	八幡平市	41.7%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	長寿命化改修	優先度5
14	高速一戸宿舎	2号棟	35／47	一戸町	25.0%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
15	東仙北宿舎		37／47	盛岡市	56.3%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	長寿命化改修	優先度5
16	緑が丘宿舎		26／47	盛岡市	62.5%	改善・見直し(利用状況)	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
17	愛宕宿舎		22／47	盛岡市	81.3%	改善・見直し(利用状況)	現状維持	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
18	向中野宿舎	1号棟	24／47	盛岡市	34.4%	改善・見直し(利用状況)	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	長寿命化改修	優先度5
19	向中野宿舎	2号棟	24／47	盛岡市	87.5%	改善・見直し(利用状況)	現状維持	低	集約化	長寿命化改修	優先度5
20	見前職員宿舎		46／38	盛岡市	50.0%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	廃止	解体	優先度:低
21	滝沢宿舎	1号棟	56／47	滝沢市	94.4%	現状維持	現状維持	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
22	滝沢宿舎	2号棟	55／47	滝沢市	55.6%	改善・見直し(利用状況)	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
23	大更職員宿舎		46／47	八幡平市	50.0%	改善・見直し(経費効率)	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
24	石神下宿舎		28／47	岩手町	100.0%	現状維持	現状維持	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
25	西根宿舎		26／47	八幡平市	75.0%	改善・見直し(経費効率)	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
26	東裏宿舎		56／47	紫波町	41.7%	改善・見直し(経費効率)	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
27	桜町宿舎		50／47	紫波町	41.7%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	廃止	解体	優先度:低
28	矢巾宿舎		29／47	矢巾町	41.7%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
29	南城宿舎	2号棟	51／47	花巻市	33.3%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	廃止	解体	優先度:低
30	石神職員宿舎		55／47	花巻市	22.2%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
31	下小舟渡宿舎		27／47	花巻市	75.0%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
32	立花宿舎	1号棟	60／47	北上市	72.2%	改善・見直し(利用状況)	現状維持	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
33	立花宿舎	2号棟	53／47	北上市	0.0%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	廃止	解体	優先度:低
34	藤沢宿舎	1号棟	42／47	北上市	33.3%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
35	藤沢宿舎	2号棟	41／47	北上市	0.0%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	廃止	解体	優先度:低
36	大堤宿舎	1号棟	47／47	北上市	61.1%	改善・見直し(利用状況)	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
37	大堤宿舎	2号棟	47／47	北上市	33.3%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
38	大堤宿舎	3号棟	40／47	北上市	33.3%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
39	大鐘宿舎	1号棟	59／47	奥州市	88.9%	改善・見直し(利用状況)	現状維持	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
40	大鐘宿舎	2号棟	55／47	奥州市	55.6%	改善・見直し(利用状況)	現状維持	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
41	龍ヶ馬場宿舎		46／47	奥州市	91.7%	改善・見直し(利用状況)	現状維持	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
42	龍ヶ馬場北宿舎		27／47	奥州市	100.0%	改善・見直し(経費効率)	現状維持	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
43	向山宿舎		44／47	奥州市	50.0%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
44	豊田町宿舎		22／47	奥州市	100.0%	現状維持	現状維持	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
45	中野宿舎		46／47	一関市	83.3%	改善・見直し(利用状況)	現状維持	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
46	鶴が丘職員宿舎		51／38	一関市	16.7%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	廃止	解体	優先度:低
47	三関宿舎		42／47	一関市	83.3%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
48	十二神宿舎		26／47	一関市	58.3%	改善・見直し(利用状況)	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
49	平泉宿舎	1号棟	41／47	平泉町	50.0%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
50	平泉宿舎	2号棟	41／47	平泉町	50.0%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要

施設No.	施設名称	経過年数 ／耐用年数	所在地	入居率	評価結果			今後の方向性（たたき台）		
					定量評価 (ソフト面)	定性評価 (ソフト面× ハード面)	定性評価	機能	建物	長寿命化対策の 優先度評価
51	駒場宿舎	53／47	一関市	100.0%	現状維持	現状維持	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
52	久保田宿舎	45／47	一関市	62.5%	改善・見直し(経費効率) 改善・見直し(複合化等)	改善・見直し(経費効率) 改善・見直し(複合化等)	低	集約化	長寿命化改修	優先度5
53	上山宿舎	1号棟	58／47	大船渡市	72.2%	現状維持	現状維持	低	集約化	現状維持
54	上山宿舎	2号棟	51／47	大船渡市	91.7%	改善・見直し(利用状況) 改善・見直し(経費効率)	現状維持	低	集約化	現状維持
55	みどり町宿舎		30／47	大船渡市	91.7%	改善・見直し(利用状況) 改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
56	松峯宿舎		51／38	陸前高田市	66.7%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持
57	高田幹部交番職員宿舎		9／47	陸前高田市	100.0%	改善・見直し(経費効率) 改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持	大規模整備不要
58	早瀬宿舎	1号棟	57／47	遠野市	58.3%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持
59	早瀬宿舎	2号棟	53／47	遠野市	66.7%	改善・見直し(利用状況) 改善・見直し(経費効率)	現状維持	低	集約化	現状維持
60	松崎宿舎		45／47	遠野市	75.0%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持
61	定内宿舎	1号棟	57／47	釜石市	83.3%	現状維持	現状維持	低	集約化	現状維持
62	定内宿舎	2号棟	54／47	釜石市	75.0%	改善・見直し(利用状況) 改善・見直し(経費効率)	現状維持	低	集約化	現状維持
63	定内宿舎	3号棟	51／47	釜石市	91.7%	現状維持	現状維持	低	集約化	現状維持
64	中妻宿舎		28／47	釜石市	100.0%	現状維持	現状維持	低	集約化	現状維持
65	大槌宿舎		8／47	大槌町	100.0%	改善・見直し(経費効率) 改善・見直し(複合化等)	現状維持	低	集約化	現状維持
66	磯鶴宿舎		58／47	宮古市	66.7%	現状維持	現状維持	低	廃止	解体
67	山口宿舎	1号棟	53／47	宮古市	100.0%	現状維持	現状維持	低	集約化	現状維持
68	山口宿舎	2号棟	53／47	宮古市	0.0%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	廃止	解体
69	山口宿舎	3号棟	51／47	宮古市	100.0%	現状維持	現状維持	低	集約化	現状維持
70	西ヶ丘宿舎		41／47	宮古市	66.7%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持
71	松山宿舎		7／47	宮古市	100.0%	現状維持	現状維持	低	集約化	現状維持
72	山田職員宿舎		7／47	山田町	100.0%	改善・見直し(経費効率) 改善・見直し(複合化等)	現状維持	低	集約化	現状維持
73	沢廻宿舎		56／47	岩泉町	66.7%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	廃止	解体
74	新沢廻宿舎		45／47	岩泉町	0.0%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持
75	片畑宿舎		47／47	岩泉町	100.0%	改善・見直し(経費効率) 改善・見直し(複合化等)	現状維持	低	集約化	現状維持
76	片畑宿舎	2号棟	44／47	岩泉町	100.0%	改善・見直し(経費効率) 改善・見直し(複合化等)	現状維持	低	集約化	現状維持
77	小久慈宿舎		56／47	久慈市	100.0%	改善・見直し(経費効率) 改善・見直し(複合化等)	現状維持	低	集約化	現状維持
78	川崎宿舎		52／47	久慈市	91.7%	改善・見直し(利用状況) 改善・見直し(経費効率)	現状維持	低	集約化	現状維持
79	天神堂宿舎	1号棟	43／47	久慈市	66.7%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持
80	天神堂宿舎	2号棟	31／47	久慈市	91.7%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持
81	在府小路宿舎		58／47	二戸市	75.0%	改善・見直し(利用状況) 改善・見直し(経費効率)	現状維持	低	廃止	解体
82	一戸宿舎		45／47	一戸町	50.0%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	廃止	解体
83	八幡平宿舎		29／47	二戸市	91.7%	改善・見直し(利用状況) 改善・見直し(経費効率)	現状維持	低	集約化	現状維持
84	上野々合同公舎	1号棟	43／47	二戸市	100.0%	現状維持	現状維持	低	集約化	現状維持
85	上野々合同公舎	2号棟	39／47	二戸市	0.0%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	集約化	現状維持
86	上野々合同宿舎	独身寮	43／47	二戸市	0.0%	廃止	改善・見直し(複合化等)	低	廃止	解体
		86								

5 施設保有の最適化に向けた取組

(1) 社会経済情勢等の変化への対応

警察本部が所管する一般庁舎は、警察法その他関係法令等により設置している施設であり、治安維持活動及び防災活動の拠点となる重要な施設である。警察活動に支障を来すことのないよう、安全性確保、建物性能維持の観点から緊急度の高い項目について可及的速やかに更新・修繕等を進めつつ、長寿命化に資する計画的な保全に取り組む。

また、人口動態などの社会経済情勢の変化に対応し、縮小可能な施設の集約化・拠点化について検討するなど、情勢の変化に合わせた施設規模・総量の最適化に取り組む。

職員宿舎については、近年の交通網・通信環境の発達に伴う居住制限の緩和等により、一部の地区で職員宿舎の需要が低減していることから、地区単位で必要数を見直し、建物の更新・修繕等の時期に合わせた統合・廃止等に取り組む。

また、老朽化の著しい職員宿舎が多く維持管理が困難な施設も多いことから、他部局が管理する職員宿舎の相互利用を進め廃止等に取り組む。

(2) 施設の有効活用（未利用資産の売却等）

施設保有数の最適化に向けた取組により発生する活用見込みのない用途廃止施設については、「県有未利用資産等活用・処分方針」に基づく売却、貸付その他の有効活用を図っていく。

6 施設の長寿命化と経費負担の平準化に向けた取組

(1) 長寿命化等対策の概要

建物性能・老朽化の状況、長寿命化対策によるコスト縮減効果や警察施設の特殊性などを総合的に勘案し、各施設に求められる機能の維持・強化を図るために、経費負担の平準化に配意しつつ、状況に応じた適切な時期での修繕（更新）等、計画的な長寿命化対策を実施する。

具体には、日常点検による維持修繕を必要最小限の対応としながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。

これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

また、職員宿舎など、民間事業者の技術やノウハウ、資金等を活用することにより、維持管理・更新の効率化、財政負担の軽減が期待される施設の建替等に当たっては、PPP／PFIの活用など民間活力の導入も含めて検討する。

ア 修繕（更新）

部位・部材の耐用年数を考慮して定期的に実施するとともに、発注にあたっては、仮設コストの縮減や工期の短縮等のため、工事の一括発注についても考慮する。

【目標修繕（更新）周期】

竣工後20年	竣工後40年	竣工後60年
屋上防水・外壁塗装	躯体以外の建築全般	屋上防水
空調熱源	電気設備（機材のみ）	電気設備（機材のみ）
ポンプ類	機械設備全般	機械設備全般

イ 大規模修繕（リノベーション）

社会経済情勢の変化等により高度化する要求性能に対応させる必要がある場合は、適切な時期を設定し効率的な実施に努める。

(2) 施設の目標使用年数・更新周期

鉄筋コンクリート造の建物の目標使用年数については、日本建築学会による鉄筋コンクリート構造体の総合的耐久性を基に、原則として供用限界期間である100年に設定し、長寿命化対策に取り組む。

なお、鉄筋コンクリート造以外の施設に関しては、施工、気象、立地等の諸条件により、耐久性に大きな差違が生ずるほか、明確な供用限界期間の根拠がないことから、一律の目標使用年数の設定は行わず、個別の状況の把握と適時

適切な保全を図り、可能な限りの長期継続使用を目指す。

7 施設利用者の安全・安心の確保に向けた取組

(1) 効率的な耐震化等対策の実施

対象施設のうち、昭和56年以前の旧耐震基準で建築され、かつ、政令で定める規模（RC造、S造の3階以上かつ延床面積1000m²以上）の施設については、耐震診断を行い、耐震基準に満たない施設については既に耐震改修工事を施工しており、耐震性に問題がある施設はない。

(2) 高度の危険性が認められた場合の対応

定期点検や日常点検等において、安全性に係る高度の危険性が確認された場合は、直ちに使用停止等の措置を講じた上で、可及的速やかに整備方針を確立し、危険性の除去を図る。

また、老朽化等により用途廃止され、かつ今後も利用見込みのない施設は、危険性が生じることがないよう適切に処分・除却を進める。

8 施設類型ごとの長寿命化等対策の方向性と概算経費等

(1) 計画期間中における施設の方向性と対策の内容

施設毎の公共施設カルテのとおり。

(2) 実施期間中の概算経費

ア 令和7年度から令和11年度までの計画期間（5年間）の必要対策費の概算は、約38億円となる。

■ R7～R11概算額（5年間）

【単位：百万円】

施設分類	施設数	対策費
庁舎	27	3,626
職員宿舎	86	192
計	113	3,818

※ 大規模施設整備計画の数値採用

イ 令和7年度から令和36年度までの計画期間（30年間）の必要対策費の概算は約315億円となる。

■ R7～R36中長期保全計画概算額（30年間）

【単位：百万円】

施設分類	施設数	対策費
庁舎	27	21,204
職員宿舎	86	10,335
計	113	31,539

※ 中長期保全計画の数値採用

計画期間中における対策の内容

① 庁舎（27施設）

施設 No.	施設名称	計画期間										備考	
		令和7年度（個別施設計画の始期） ～令和11年度（中間見直し）					令和12年度～令和16年度（終期）						
		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16		
1 警察本部	電気設備改修	空調設備改修	電気設備改修	電気設備改修	電気設備改修	電気設備改修							
2 自動車整備工場			電気設備改修	電気設備改修	電気設備改修	電気設備改修							
3 警察音楽隊訓練場			電気設備改修	電気設備改修	電気設備改修	電気設備改修							
4 自動車運転免許試験場	昇降機改修	電気設備改修	電気設備改修	電気設備改修	電気設備改修	電気設備改修							
5 県南運転免許センター						電気設備改修							
6 交通機動隊												紫波警察署に計上	
7 警察航空隊基地													
8 機動隊道場棟													
9 警察学校体育館													
10 見前幹部交番・機動捜査隊合同庁舎				電気設備改修	電気設備改修								
11 盛岡東警察署	設備改修			電気設備改修	電気設備改修	設備改修	設備改修	設備改修	設備改修	設備改修	R12以降も計画改修		
12 盛岡西警察署				電気設備改修	電気設備改修	電気設備改修							
13 岩手警察署					電気設備改修	電気設備改修							
14 紫波警察署	解体工事	新築工事	新築工事	新築工事	解体工事	測量							
15 花巻警察署	機械設備改修					電気設備改修							
16 北上警察署			電気設備改修			電気設備改修							
17 奥州警察署						電気設備改修							
18 江刺幹部交番						電気設備改修							
19 一関警察署						電気設備改修							
20 千厩警察署						電気設備改修							
21 大船渡警察署	空調設備改修	電気設備改修											
22 遠野警察署							庁舎整備等	庁舎整備等	庁舎整備等	庁舎整備等	庁舎整備等	計画未定	
23 釜石警察署・沿岸運転免許センター及び 交通機動隊沿岸分駐隊													
24 宮古警察署													
25 岩泉警察署	空調設備改修												
26 久慈警察署・県北運転免許センター													
27 二戸警察署													

※ 全施設共通：上記のほか、日常点検に基づく維持修繕を実施

② 職員宿舎

施設 No.	施設名称	計画期間										備考	
		令和7年度（個別施設計画の始期） ～令和11年度（中間見直し）					令和12年度～令和16年度（終期）						
		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16		
1	東松園宿舎 1号棟												
2	東松園宿舎 2号棟												
3	東松園宿舎 3号棟											廃止予定（時期未確定）	
4	東松園宿舎 4号棟											廃止予定（時期未確定）	
5	西松園宿舎 1号棟											廃止予定（時期未確定）	
6	西松園宿舎 2号棟											廃止予定（時期未確定）	
7	西松園宿舎 3号棟											廃止予定（時期未確定）	
8	盛岡地区松園独身寮												
9	川目宿舎 1号棟								解体設計	解体工事		廃止予定（時期未確定）	
10	川目宿舎 2号棟						解体設計	解体工事				廃止予定（時期未確定）	
11	交通二戸宿舎								解体設計	解体工事		廃止予定（時期未確定）	
12	高速安代宿舎												
13	高速一戸宿舎 1号棟												
14	高速一戸宿舎 2号棟												
15	東仙北宿舎	給湯設備改修											
16	緑が丘宿舎												
17	愛宕宿舎												
18	向中野宿舎 1号棟	給排水管改修	給排水管改修										
19	向中野宿舎 2号棟	給排水管改修	給排水管改修										
20	見前職員宿舎							解体設計	解体工事			廃止予定（時期未確定）	
21	滝沢宿舎 1号棟												
22	滝沢宿舎 2号棟												
23	大更職員宿舎												
24	石神下宿舎												
25	西根宿舎												
26	東裏宿舎												
27	桜町宿舎											R7解体、署整備費に計上	
28	矢巾宿舎												
29	南城宿舎 2号棟								解体設計	解体工事		廃止予定（時期未確定）	
30	石神職員宿舎												
31	下小舟渡宿舎												
32	立花宿舎 1号棟												
33	立花宿舎 2号棟						解体設計	解体工事				廃止予定（時期未確定）	
34	藤沢宿舎 1号棟												
35	藤沢宿舎 2号棟										解体設計	廃止予定（時期未確定）	
36	大堤宿舎 1号棟												
37	大堤宿舎 2号棟												
38	大堤宿舎 3号棟												
39	大鐘宿舎 1号棟												
40	大鐘宿舎 2号棟												
41	龍ヶ馬場宿舎												
42	龍ヶ馬場北宿舎												
43	向山宿舎												
44	豊田町宿舎												
45	中野宿舎												
46	関ヶ丘職員宿舎						解体設計	解体工事				廃止予定（時期未確定）	
47	三関宿舎												
48	十二神宿舎												
49	平泉宿舎 1号棟												
50	平泉宿舎 2号棟												

施設 No.	施設名称	計画期間										備考	
		令和7年度（個別施設計画の始期） ～令和11年度（中間見直し）					令和12年度～令和16年度（終期）						
		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16		
51	駒場宿舎												
52	久保田宿舎												
53	上山宿舎 1号棟												
54	上山宿舎 2号棟												
55	みどり町宿舎												
56	松峯宿舎												
57	高田幹部交番職員宿舎												
58	早瀬宿舎 1号棟												
59	早瀬宿舎 2号棟												
60	松崎宿舎												
61	定内宿舎 1号棟												
62	定内宿舎 2号棟												
63	定内宿舎 3号棟												
64	中妻宿舎												
65	大槌宿舎												
66	磯鶴宿舎											解体設計 廃止予定（時期未確定）	
67	山口宿舎 1号棟												
68	山口宿舎 2号棟											解体設計 解体工事 廃止予定（時期未確定）	
69	山口宿舎 3号棟												
70	西ヶ丘宿舎												
71	松山宿舎												
72	山田職員宿舎												
73	沢廻宿舎											解体設計 廃止予定（時期未確定）	
74	新沢廻宿舎												
75	片畠宿舎												
76	片畠宿舎 2号棟												
77	小久慈宿舎												
78	川崎宿舎												
79	天神堂宿舎 1号棟												
80	天神堂宿舎 2号棟												
81	在府小路宿舎											解体設計 廃止予定（時期未確定）	
82	一戸宿舎											解体工事 廃止予定（時期未確定）	
83	八幡平宿舎												
84	上野々合同公舎 1号棟												
85	上野々合同公舎 2号棟												
86	上野々合同宿舎 独身寮											解体設計 廃止予定（時期未確定）	

※ 全施設共通：上記のほか、日常点検に基づく維持修繕を実施

※ R12～R17は解体のみ計上（時期未確定）

1 施設概要

1 施設名称	警察本部		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	盛岡市内丸9番5		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	該当
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	防火地域	用途地域	商業地域
5 敷地面積	1,710.26 m ²		建築面積	846.83 m ²	延床面積	13,143.36 m ²
6 竣工年度 (建築年月)	1982年2月		経過年数 (R7.4.1現在)	43年	施設内棟数	1棟
7 設置根拠	有					
8 設置目的	警察法の規定に基づき設置される都道府県警察が、当該都道府県の区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び法令等に定める知事、岩手県公安委員会及び警察本部長の権限に属する事務を適正かつ効率的に執行するため必要となる行政庁舎					
9 施設の概況	○ 1982年(S57)に建築したSRC造地上13階地下3階の庁舎であり、警察本部内の23所属及び東北管区警察局岩手県情報通信部の4所属の庁舎として544名の職員が勤務している。					
10 未利用設備	無		大規模改修	有		
11 使用許可等の有無	無					
12	名称	警察本部			現況写真	
13	構造	SRC造	種目	事務所建		
14	階数	地上	13階	地下		
15	建築面積	846.83 m ²	延床面積	13,143.36 m ²		
16	建築年月日	1982年2月	法定耐用年数	50年		
17	耐震診断	済	耐震改修	不要		
18	その他特記事項					

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	544人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		530人	519人	535人	541人	553人
	増減率 (R5/過去5年平均)			1.6%		
	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時【A】 (H26年10月時点)	1,284,384人	現在【B】 (R6年10月時点)	1,144,407人	増減率 (マクロデータ) ▲ 10.9%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	構成比		構成比		構成比	
経常費用	221,549	100.0%	239,589	100.0%	237,751	100.0%
人件費	71,626	32.3%	73,318	30.6%	75,686	31.8%
物件費等	84,939	38.3%	103,254	43.1%	101,500	42.7%
維持修繕費	10,522	4.7%	8,565	3.6%	6,367	2.7%
減価償却費	54,462	24.6%	54,452	22.7%	54,198	22.8%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	221,549	100.0%	239,589	100.0%	237,751	100.0%
経常収益(直接的収入)	0-		0-		0-	
使用料・手数料	-		-		-	
その他	-		-		-	
臨時利益(直接的収入)	0-		0-		0-	
資産売却益	-		-		-	
その他	-		-		-	
補助金等(間接的収入)	0-		0-		0-	
国庫補助金	-		-		-	
その他	-		-		-	
収入合計	0-		0-		0-	
年間コスト	▲ 221,549		▲ 239,589		▲ 237,751	

年間利用者数	541人	553人	544人
延床面積当たりコスト	16,856円/m ²	18,229円/m ²	18,089円/m ²
利用者1人当たりコスト	409,518円/人	433,253円/人	437,042円/人
(参考)県民1人当たりコスト	185円/人	203円/人	204円/人
有形固定資産減価償却率	81.9%	83.7%	85.5%

(参考)岩手県の人口 (単位:人)	R3	R4	R5
	1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建築	② 電気設備	③ 機械設備		
33 主な建築・設備	屋根仕上:シート防水	受変電設備:屋内形、キュービクル式	冷暖房設備:蒸気方式、局所冷房方式			
		発電設備:屋内形、高圧、ガスタービン式	熱源設備:鋼製ボイラー、無圧式温水			
		屋外形、低圧、ディーゼル式	発生器、チーリングユニット			
		構内交換設備:電子交換機	空調設備:ユニット型、パッケージ型			
		構内放送設備:自動火災報知設備	給水設備:高置水槽方式			
		エレベーター設備:非常用2台	給湯設備:無圧式温水発生器、ガス湯沸			
34 劣化度調査	屋上防風パネル鉄骨等の亀裂		給水ポンプの異音等			
	PH階外壁の浮き		空調設備の一部故障			
35 定期点検	R6.3 建築点検	R6.3 建築設備点検	R6.3 建築設備点検			
	地下1階スロープひび割れ	洗車用電源箱腐食	地下1階オーバーフロー管腐食			
	シート防水劣化	1階裏電線用保護管固定バンド破損	PH屋上廃棄ファン発錆			
36 改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	塔屋屋上防水改修(R1)【4】	受変電設備変圧器改修(R5)【5】	機械室空調設備改修(R3)【23】			
	地下3階ほか改修(R6)【25】	非常用発電設備改修(R5)【20】	スプリンクラーポンプほか改修(R4)【30】			
		操作用直流電源装置改修(R5)【20】				
47 直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫					0百万円
	県債	23百万円	26百万円	34百万円	32百万円	30百万円
	一般財源	5百万円	2百万円	5百万円	14百万円	10百万円
	その他					0百万円
計		28百万円	28百万円	39百万円	46百万円	40百万円
						181百万円

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
48 ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
49 ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

50 51 施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			

7 長寿命化等対策の方向性等

52 長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
53 主な維持修繕・改修の内容	令和7年度 ・変圧器等改修 ・空調設備改修 (設計)	令和8年度 ・低濃度PCBランプ収集・運搬・空調設備改修・非常用発電設備制御盤改修・機械室指紋認証装置更新	令和9年度 ・高架水槽改修・衛生器具、給排水管改修・給水、雑用水ポンプ改修・照明LED化	令和10年度 ・高架水槽改修・衛生器具、給排水管改修・受変電設備改修・照明LED化	令和11年度 ・衛生器具、給排水管改修・照明LED化	備考/合計
54 概算費用(見込)	12 百万円	51 百万円	26 百万円	117 百万円	94 百万円	300 百万円
国庫						0 百万円
県債	9 百万円	38 百万円	15 百万円	83 百万円	66 百万円	211 百万円
一般財源	3 百万円	13 百万円	11 百万円	34 百万円	28 百万円	89 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ(個表:庁舎等用)

No. 2

1 施設概要

1 施設名称	自動車整備工場		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	滝沢市砂込390番40.72		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5 敷地面積	17,685.08 m ²		建築面積	640.44 m ²	延床面積	632.52 m ²
6 施工年度 (建築年月)	2012年9月		経過年数 (R7.4.1現在)	12年	施設内棟数	1棟
7 設置根拠	無					
8 設置目的	警察諸活動に使用する車両の安全運行と機能・性能の維持を目的とした点検・整備を行う施設					
9 施設の概況	<p>○ 2012年(H24)農林水産部から所管替えを受けた旧JA学園敷地内にS造平屋建の事務所兼工場、付属施設として洗車場を設置 ※ 同一敷地内に警察音楽隊訓練場を設置</p>					
10 未利用設備	無		大規模改修	無		
11 使用許可等の有無	無					
12	名称	自動車整備工場			現況写真	
13	構造	S造	種目	工場建		
14	階数	地上	1階	地下		
15	建築面積	640.44 m ²	延床面積	632.52 m ²		
16	建築年月日	2012年9月	法定耐用年数	31年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他特記事項					

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	6人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		6人	6人	6人	6人	6人
	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時【A】 (H26年10月時 点)	1,284,384人	現 在【B】 (R6年10月時点)	1,144,407人	増減率 (マクロデータ) ▲ 10.9%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	構成比		構成比		構成比	
経常費用	79,075	100.0%	81,201	100.0%	82,894	100.0%
人件費	71,626	90.6%	73,318	90.3%	75,686	91.3%
物件費等	2,511	3.2%	2,765	3.4%	2,460	3.0%
維持修繕費	0	0.0%	180	0.2%	451	0.5%
減価償却費	4,938	6.2%	4,938	6.1%	4,297	5.2%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	79,075	100.0%	81,201	100.0%	82,894	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 79,075		▲ 81,201		▲ 82,894	

年間利用者数	6人	6人	6人
延床面積当たりコスト	125,016円/m ²	128,377円/m ²	131,054円/m ²
利用者1人当たりコスト	13,179,167円/人	13,533,500円/人	13,815,667円/人
(参考)県民1人当たりコスト	66円/人	69円/人	71円/人
有形固定資産減価償却率	32.3%	35.8%	39.0%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

	① 建築	② 電気設備	③ 機械設備			
33 主な建築・設備	屋根仕上:金属	受変電設備:屋外形、キューピタル式	冷暖房:局所暖房(FFヒーター)、局所			
		警報設備:自動火災報知設備	冷房方式(エアコン)			
			給水設備:水道直結方式			
			排水設備:浄化槽			
			給湯設備:局所式:灯油湯沸器			
34 劣化度調査	建物内部の傷み、汚れ(天井等)	照明器具支持金具の損傷	排水管の流れ不良			
35 定期点検	R4.1 建築点検	R6.2 建築設備点検	R6.2 建築設備点検			
	指摘なし	水銀灯不点灯	廃油タンク錆			
			エアコンカバー破損			
36 改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
47 直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫					0百万円
	県債					0百万円
	一般財源					0百万円
	その他					0百万円
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
48 ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
49 ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
50 施設全体の方針	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			
51				

7 長寿命化等対策の方向性等

52 長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
53 主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
			・照明LED化	・照明LED化	・照明LED化	
54 概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0.4 百万円	0.4 百万円	0.4 百万円	1.2 百万円
	国庫					0.0 百万円
	県債					0.0 百万円
	一般財源		0.4 百万円	0.4 百万円	0.4 百万円	1.2 百万円
	その他					0.0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1 施設名称	警察音楽隊訓練場		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	滝沢市砂込390番40、72		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5 敷地面積	17,685.08 m ²		建築面積	997.49 m ²	延床面積	997.49 m ²
6 竣工年度 (建築年月)	1991年11月		経過年数 (R7.4.1現在)	33年	施設内棟数	1棟
7 設置根拠	無					
8 設置目的	警察音楽隊の訓練場所及び楽器、資機材並びに車両の保管場所の確保					
9 施設の概況	○ 敷地:具有地、体育館:S造平屋建、旧JA学園敷地内に建設された鉄骨造の体育館を警察音楽隊の訓練場として使用、付属施設として2012年(H24)、車庫(S1)1棟を増設※同一敷地内には、岩手県警察自動車整備工場施設が併設					
10 未利用設備	無		大規模改修	無		
11 使用許可等の有無	無					
12 主要棟	名称	警察音楽隊訓練場			現況写真	
13	構造	S造	種目	事務所建		
14	階数	地上	1階	地下		
15	建築面積	997.49 m ²	延床面積	997.49 m ²		
16	建築年月日	1991年11月	法定耐用年数	38年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他特記事項					

2 利用状況

R 5 利用 状況	開館日	平日の訓練日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	23人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		24人	24人	24人	24人	23人
	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時[A] (H26年10月時点)	1,284,384人	現在[B] (R6年10月時点)	1,144,407人	増減率 (マクロデータ) ▲ 10.9%
						-3.4%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	構成比		構成比		構成比	
経常費用	75,102	100.0%	76,087	100.0%	80,318	100.0%
人件費	71,626	95.4%	73,318	96.4%	75,686	94.2%
物件費等	364	0.5%	415	0.5%	454	0.6%
維持修繕費	824	1.1%	66	0.1%	1,958	2.4%
減価償却費	2,288	3.0%	2,288	3.0%	2,220	2.8%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	75,102	100.0%	76,087	100.0%	80,318	100.0%
経常収益(直接的収入)	0-		0-		0-	
使用料・手数料	-		-		-	
その他	-		-		-	
臨時利益(直接的収入)	0-		0-		0-	
資産売却益	-		-		-	
その他	-		-		-	
補助金等(間接的収入)	0-		0-		0-	
国庫補助金	-		-		-	
その他	-		-		-	
収入合計	0-		0-		0-	
年間コスト	▲ 75,102		▲ 76,087		▲ 80,318	

年間利用者数	24人	23人	23人
延床面積当たりコスト	75,291円/m ²	76,278円/m ²	80,520円/m ²
利用者1人当たりコスト	3,129,250円/人	3,308,130円/人	3,492,087円/人
(参考)県民1人当たりコスト	63円/人	64円/人	69円/人
有形固定資産減価償却率	83.3%	86.4%	88.2%

(参考)岩手県の人口
(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

	① 建築	② 電気設備	③ 機械設備			
33 主な建築・設備	屋根仕上:金属	受変電設備:キュービクル式	給水設備:水道直結方式			
			排水設備:浄化槽			
			給湯設備:ガス給湯器			
34 劣化度調査						
35 定期点検	R4.1 建築点検 アリーナ引違戸の表面の凹み及び穴 アリーナ排煙設備のオペレータ破損	R6.2 建築設備点検 非常用照明不点灯	R6.2 建築設備点検 小便器固定不良			
36 改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】			動力消防ポンプ更新(R6)【1】			
47 直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度 国庫 県債 一般財源 その他	令和3年度 0百万円	令和4年度 0百万円	令和5年度 0百万円	令和6年度 1百万円	合計 1百万円
						0百万円
						1百万円
						0百万円
						0百万円
	計	0百万円	0百万円	0百万円	1百万円	1百万円

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
48 ソフト(利用状況×経費効率)	廃止	施策上の必要性	高
49 ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
50 51 施設全体の方針	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			

7 長寿命化等対策の方向性等

52 長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
53 主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
			・照明LED化	・照明LED化	・照明LED化	
54 概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0.6 百万円	0.6 百万円	0.6 百万円	1.8 百万円
	国庫					0.0 百万円
	県債					0.0 百万円
	一般財源		0.6 百万円	0.6 百万円	0.6 百万円	1.8 百万円
	その他					0.0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

施設名称	自動車運転免許試験場		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
所在地	盛岡市下田字仲平183番1		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
敷地面積	70,173.51 m ²		建築面積	2,087.02 m ²	延床面積	5,458.41 m ²
竣工年度 (建築年月)	1980年12月		経過年数 (R7.4.1現在)	44年	施設内棟数	3棟
設置根拠	有					
設置目的	道路交通法に規定する岩手県公安委員会の権限に属する自動車及び原動機付自転車の運転免許に関する事務を行う行政庁舎					
施設の概況	<p>○ 1960年(S35)、開拓農協外から買入取得した敷地内にRC造地上5階地下1階建の庁舎、付属施設として車庫(S1、RC2)各1棟及び実技試験コースを設置 ○ 1993年(H5)にバイク保管管理棟(S1)、1998年(H10)に車庫(S1)を増築</p>					
未利用設備	無		大規模改修	有	自動車運転免許試験場トイレ改修工事 (R4)	
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	自動車運転免許試験場			現況写真	
	構造	RC造	種目	事務所建		
	階数	地上	5階	地下		
	建築面積	2,087.02 m ²	延床面積	5,458.41 m ²		
	建築年月日	1980年12月	法定耐用年数	50年		
	耐震診断	済	耐震改修	不要		
	その他特記事項					

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日、日曜(土曜、休日を除く)		開館時間	9:00~16:00	
	職員数	22人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 増減率 (R5/過去5年平均)
		29人	24人	23人	23人	▲ 9.8%
	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時[A] (H26年10月時点)	1,284,384人	現在[B] (R6年10月時点)	1,144,407人	増減率 (マクロデータ) ▲ 10.9%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	構成比		構成比		構成比	
経常費用	74,807	100.0%	69,037	100.0%	67,055	100.0%
人件費	16,175	21.6%	14,491	21.0%	15,527	23.2%
物件費等	36,383	48.6%	33,908	49.1%	32,179	48.0%
維持修繕費	3,455	4.6%	1,814	2.6%	1,039	1.5%
減価償却費	18,794	25.1%	18,824	27.3%	18,310	27.3%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	74,807	100.0%	69,037	100.0%	67,055	100.0%
経常収益(直接的収入)	0-		0-		0-	
使用料・手数料	-		-		-	
その他	-		-		-	
臨時利益(直接的収入)	0-		0-		0-	
資産売却益	-		-		-	
その他	-		-		-	
補助金等(間接的収入)	0-		0-		0-	
国庫補助金	-		-		-	
その他	-		-		-	
収入合計	0-		0-		0-	
年間コスト	▲ 74,807		▲ 69,037		▲ 67,055	

年間利用者数	23人	23人	22人
延床面積当たりコスト	13,705円/m ²	12,648円/m ²	12,285円/m ²
利用者1人当たりコスト	3,252,478円/人	3,001,609円/人	3,047,955円/人
(参考)県民1人当たりコスト	63円/人	58円/人	58円/人
有形固定資産減価償却率	86.1%	87.7%	89.3%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

番号:建物名称		庁舎棟		車庫棟1		車庫棟2					
構造 / 種目	RC造	車庫建	RC造	車庫建	S造	車庫建					
階数	地上 5階	地下 1階	地上 2階	地下	地上 1階	地下					
建築面積	2,087.02 m ²		375.58 m ²		535.04 m ²						
延床面積	5,458.41 m ²		415.55 m ²		528.52 m ²						
建築年月	1980年12月	耐用年数 50年	1980年12月	耐用年数 38年	1980年12月	耐用年数 31年					
耐震診断 / 耐震改修	済	不要	不要	不要	不要	不要					
その他特記事項											
主な建築・設備	建築	屋根仕上:金属		屋根仕上:金属		屋根仕上:金属					
	電気設備										
	機械設備										
劣化度調査	建築	敷地内舗装、側溝、フェンスの劣化									
		外壁タイルの浮き、剥離									
		外部建具(窓、ドア、階段)の劣化									
	電気設備										
	機械設備										
定期点検	建築	R4.1 庁舎建築点検 電気室換気扇の動作不良 2階トイレ便器破損等	R4.1 車庫建築点検 車庫入り口柱部の汚れ 屋外階段全体的に錆多数		R4.1 車庫建築点検 サンダーリー鉄部の錆 土間クラック及び穴多数						
	電気設備	R6.2 庁舎建築設備点検 蛍光灯不点灯 蛍光灯なし	R6.2 車庫建築設備点検 蛍光管なし		R6.2 車庫建築設備点検 蛍光灯不点灯						
	機械設備	R6.2 庁舎建築設備点検 指摘なし	R6.2 車庫建築設備点検 指摘なし		R6.2 車庫建築設備点検 シャッター開閉不良						
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	内外壁防護措置(R6)[13]				車庫シャッター改修(R6)[1]					
直近5年の維持修繕・改修費	電気設備	トイレ改修(R4)[11]									
直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計					
	国庫					0百万円					
	県債		10百万円		10百万円	20百万円					
	一般財源		1百万円		4百万円	5百万円					
	その他					0百万円					
計		0百万円	0百万円	11百万円	0百万円	14百万円	25百万円				

5 施設評価

1次評価(定量評価)		評価・分析結果	2次評価(定性評価)		評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)	改善	施策上の必要性	高	
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)	代替の可能性	代替の可能性	高	

6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			

7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	・昇降機改修工事	・井水ろ過装置改修設計 ・電気設備改修工事	・井水ろ過装置改修・大型車庫シャッター改修・火災受信機更新・照明LED化	・照明LED化	・照明LED化	
概算費用(見込)	33 百万円	8 百万円	50 百万円	3.8 百万円	3.8 百万円	98.6 百万円
国庫						0.0 百万円
県債	24 百万円	6 百万円	35 百万円			65.0 百万円
一般財源	9 百万円	2 百万円	15 百万円	3.8 百万円	3.8 百万円	33.6 百万円
その他						0.0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1 施設名称	県南運転免許センター		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	金ケ崎町大字西根字北荒巻100番2		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
5 敷地面積	31,071.75 m ²		建築面積	1,138.29 m ²	延床面積	1,948.24 m ²
6 竣工年度 (建築年月)	1988年6月		経過年数 (R7.4.1現在)	36年	施設内棟数	2棟
7 設置根拠	有					
8 設置目的	道路交通法に規定する岩手県公安委員会の権限に属する自動車及び原動機付自転車の運転免許に関する事務に關し、主に県南地域に居住する住民を対象とした行政サービス向上を目的として設置している行政庁舎					
9 施設の概況	○ 1985年(S60)、民間から買入取得した敷地内にRC造地上2階建の庁舎、付属施設として車庫(S1)1棟を設置					
10 未利用設備	無		大規模改修	有	空調設備改修工事(R4)	
11 使用許可等の有無	無					
12 主要棟	名称	県南運転免許センター			現況写真	
13	構造	RC造	種目	事務所建		
14	階数	地上	2階	地下		
15	建築面積	1,138.29 m ²	延床面積	1,948.24 m ²		
16	建築年月日	1988年6月	法定耐用年数	50年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他特記事項					

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(土日、祝日を除く)		開館時間	9:00~16:00	
	職員数	9人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		9人	9人	9人	9人	9人
	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時[A] (H26年10月時点)	1,284,384人	現在[B] (R6年10月時点)	1,144,407人	増減率 (マクロデータ) ▲ 10.9%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	45,062	100.0%	42,324	100.0%	42,525	100.0%
人件費	16,175	35.9%	14,491	34.2%	15,527	36.5%
物件費等	12,752	28.3%	12,460	29.4%	11,175	26.3%
維持修繕費	1,191	2.6%	429	1.0%	1,034	2.4%
減価償却費	14,944	33.2%	14,944	35.3%	14,789	34.8%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	45,062	100.0%	42,324	100.0%	42,525	100.0%
経常収益(直接的収入)	0-		0-		0-	
使用料・手数料	-		-		-	
その他	-		-		-	
臨時利益(直接的収入)	0-		0-		0-	
資産売却益	-		-		-	
その他	-		-		-	
補助金等(間接的収入)	0-		0-		0-	
国庫補助金	-		-		-	
その他	-		-		-	
収入合計	0-		0-		0-	
年間コスト	▲ 45,062		▲ 42,324		▲ 42,525	

年間利用者数	9人	9人	9人
延床面積当たりコスト	23,130円/m ²	21,724円/m ²	21,827円/m ²
利用者1人当たりコスト	5,006,889円/人	4,702,667円/人	4,725,000円/人
(参考)県民1人当たりコスト	38円/人	36円/人	37円/人
有形固定資産減価償却率	90.0%	92.3%	94.8%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

番号:建物名称		庁舎棟			車庫棟														
34	構造 / 種目	RC造		事務所建		S造		車庫建											
35	階数	地上	2階	地下		地上	1階	地下											
36	建築面積	1,138.29 m ²			204.00 m ²														
37	延床面積	1,948.24 m ²			204.00 m ²														
38	建築年月	1988年6月	耐用年数	50年	1988年6月	耐用年数	31年												
39	耐震診断 / 耐震改修	不要	不要		不要	不要													
40	その他特記事項																		
41	主な建築・設備	建築	屋根仕上:ステンレス		屋根仕上:金属														
42																			
43																			
44																			
45		電気設備	受変電設備:屋内形、キュービクル式																
46																			
47																			
48	定期点検	建築	敷地内舗装、側溝、フェンスの損傷																
49																			
50																			
51		機械設備	外壁材の剥離、目地の劣化																
52																			
53		機械設備	外灯の腐食																
54																			
55		建築	トイレ排水の不良																
56																			
57	改修・大規模修繕等工事履歴 【百万円】	電気設備	R4.12 車庫建築点検 堅鉄の腐食 グラスウールの剥離																
58																			
59																			
60		機械設備	R6.2 車庫建築設備点検 指摘なし																
61																			
62		改修・大規模修繕等工事履歴 【百万円】	R6.2 車庫建築設備点検 ウェザーカバーの腐食・破損																
63																			
64																			
65																			
66																			
67	直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計											
68	国庫							0百万円											
69	県債		24百万円		49百万円			73百万円											
70	一般財源		1百万円		6百万円			7百万円											
71	その他							0百万円											
72	計	0百万円	25百万円	55百万円	0百万円	0百万円	80百万円												

5 施設評価

1次評価(定量評価)		評価・分析結果		2次評価(定性評価)		評価結果	
47 ソフト(利用状況×経費効率)		改善・見直し(経費効率)		施策上の必要性		高	
48 ソフト×ハード(建物性能)		廃止		代替の可能性		高	

6 今後の方向性(たたき台)

		機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
54 施設全体の方針					

7 長寿命化等対策の方向性等

56 長寿命化等対策の方向性		建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
57 主な維持修繕・改修の内容		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
				・受変電設備改修	・昇降機改修設計	・昇降機改修	
						・照明LED化	
58 概算費用(見込)		0百万円	0百万円	6百万円	2百万円	37百万円	45百万円
							0百万円
				5百万円	1百万円	27百万円	33百万円
				1百万円	1百万円	10百万円	12百万円
							0百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1 施設名称	交通機動隊		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	盛岡市東仙北一丁目7番2		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	該当
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	近隣商業地域
5 敷地面積	1,884.85 m ²		建築面積	211.06 m ²	延床面積	416.66 m ²
6 竣工年度 (建築年月)	1972年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	53年	施設内棟数	1棟
7 設置根拠	有					
8 設置目的	岩手県警察組織規則(昭和49年公安委員会規則第2号)第19条及び第24条の規定に基づき交通部内に設置されている交通機動隊の運営・管理及び直轄隊の活動区域内の事象に対処するために設置されている庁舎					
9 施設の概況	○ 1971年(S46)、民間から買入取得した敷地内に、RC造2階建の庁舎のほか、車庫(S1)、物置(S1)各1棟を設置 ※ 敷地内には駐車場兼用で白バイ走行訓練施設を設置					
10 未利用設備	無		大規模改修	無		
11 使用許可等の有無	無					
12 主要棟	名称	交通機動隊			現況写真	
13	構造	RC造	種目	事務所建		
14	階数	地上	2階	地下		
15	建築面積	211.06 m ²	延床面積	416.66 m ²		
16	建築年月日	1972年3月	法定耐用年数	50年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他特記事項					

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	14人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 増減率 (R5/過去5年平均)
		16人	16人	16人	16人	▲ 12.5%
	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時[A] (H26年10月時点)	1,284,384人	現在[B] (R6年10月時点)	1,144,407人	増減率 (マクロデータ) ▲ 10.9%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	構成比		構成比		構成比	
経常費用	75,806	100.0%	76,543	100.0%	78,761	100.0%
人件費	71,626	94.5%	73,318	95.8%	75,686	96.1%
物件費等	2,835	3.7%	3,119	4.1%	2,898	3.7%
維持修繕費	0	0.0%	52	0.1%	123	0.2%
減価償却費	1,345	1.8%	54	0.1%	54	0.1%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	75,806	100.0%	76,543	100.0%	78,761	100.0%
経常収益(直接的収入)	0-		0-		0-	
使用料・手数料	-		-		-	
その他	-		-		-	
臨時利益(直接的収入)	0-		0-		0-	
資産売却益	-		-		-	
その他	-		-		-	
補助金等(間接的収入)	0-		0-		0-	
国庫補助金	-		-		-	
その他	-		-		-	
収入合計	0-		0-		0-	
年間コスト	▲ 75,806		▲ 76,543		▲ 78,761	

年間利用者数	16人	16人	14人
延床面積当たりコスト	181,937円/m ²	183,706円/m ²	189,029円/m ²
利用者1人当たりコスト	4,737,875円/人	4,783,938円/人	5,625,786円/人
(参考)県民1人当たりコスト	63円/人	65円/人	68円/人
有形固定資産減価償却率	98.9%	98.9%	99.0%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

	① 建築	② 電気設備	③ 機械設備			
33 主な建築・設備	屋根仕上:シート防水	構内交換設備:電子交換機	冷暖房:局所暖房(FFヒーター)、局所			
			冷房方式(エアコン)			
			換気設備:一種換気			
			給水設備:水道直結方式			
			給湯設備:ガス給湯器			
34 劣化度調査	外壁材の浮き、剥離					
	建物内部(天井、壁、床)の汚れ、傷み					
35 定期点検						
36 改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
47 直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫					0百万円
	県債					0百万円
	一般財源					0百万円
	その他					0百万円
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
48 ソフト(利用状況×経費効率)		廃止	施策上の必要性	高
49 ソフト×ハード(建物性能)		改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

6 今後の方向性(たたき台)

	機能の方向性	集約化	建物の方向性	解体
50 51 施設全体の方針	岩手県警察警察署再編等長期計画において、紫波警察署庁舎との一体整備を計画しており、現庁舎は令和11年度の解体工事を計画している。(経費は紫波警察署に計上)			

7 長寿命化等対策の方向性等

52 長寿命化等対策の方向性	岩手県警察警察署再編等長期計画において、紫波警察署庁舎との一体整備を計画しており、現庁舎は令和11年度の解体工事を計画している。(経費は紫波警察署に計上)					
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
53 主な維持修繕・改修の内容						
54 概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	国庫					0 百万円
	県債					0 百万円
	一般財源					0 百万円
	その他					0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1 施設名称	警察航空隊基地		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12				
2 所在地	花巻市葛第3地割183番1		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産				
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	該当				
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし				
5 敷地面積	12,542.69 m ²		建築面積	703.80 m ²	延床面積	849.20 m ²				
6 竣工年度 (建築年月)	2023年4月		経過年数 (R7.4.1現在)	1 年	施設内棟数	1 棟				
7 設置根拠	有									
8 設置目的	岩手県警察組織規則(昭和49年公安委員会規則第2号)第26条及び第28条の規定に基づき警備部警備課内に設置されている警察用航空機(ヘリコプター)の運用、管理するために設置されている庁舎									
9 施設の概況	<p>○ 1985年(S60)5月及び1986年(S61)11月、旧空港ターミナル施設北側の一部分を県土木部(空港管理事務所)から所管換えを受けて庁舎とし、1986年(S61)11月、庁舎隣接の空港敷地内にヘリ格納庫(S1)を設置</p> <p>○ 2023年(R5)4月に移転新築したもの。格納庫及び事務所(S造2階建)のほか、油脂庫(CB造)、ボイラー室(CB造)を設置。</p>									
10 未利用設備	無			大規模改修	無					
11 使用許可等の有無	無									
12	名称	警察航空隊基地			現況写真					
13	構造	S造	種目	事務所建						
14	階数	地上	2階	地下						
15	建築面積	703.80 m ²	延床面積	849.20 m ²						
16	建築年月日	2023年4月	法定耐用年数	38 年						
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要						
18	その他特記事項									

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	6 人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		一	一	一	一	一
	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時[A] (H26年10月時 点)	1,284,384人	現 在[B] (R6年10月時点)	1,144,407人	増減率 (マクロデータ) ▲ 10.9%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除外)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	構成比		構成比		構成比	
経常費用	0	-	0	-	78,603	100.0%
人件費	-	-	-	-	75,686	96.3%
物件費等	-	-	-	-	2,917	3.7%
維持修繕費	-	-	-	-	-	0.0%
減価償却費	-	-	-	-	0	0.0%
支払利息	-	-	-	-	-	0.0%
臨時損失	0	-	0	-	0	0.0%
災害復旧事業費	-	-	-	-	-	0.0%
その他	-	-	-	-	-	0.0%
支出合計	0	-	0	-	78,603	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	0		0		▲ 78,603	

年間利用者数	-	人	-	人	6 人
延床面積当たりコスト	0	円/m ²	0	円/m ²	92,561 円/m ²
利用者1人当たりコスト	#VALUE!	円/人	#VALUE!	円/人	13,100,500 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	0	円/人	0	円/人	68 円/人
有形固定資産減価償却率	%		%		0.0 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

	① 建築	② 電気設備	③ 機械設備			
33 主な建築・設備	屋上仕上:シート防水	受変電設備:屋内形キューピクル式、	放熱機器:ユニットヒーター			
		屋外形キューピクル式	空調機器:パッケージ式空調機			
		発電設備:屋外形、ディーゼル式	熱源設備:小型貫流ボイラー			
		電灯設備:省エネ形	給水設備:水道直結方式			
		警報設備:自動火災報知設備	排水設備:浄化槽			
			給湯設備:ガス給湯器			
34 劣化度調査						
35 定期点検		R6.2 建築設備点検	R6.2 建築設備点検			
		指摘なし	指摘なし			
36 改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
47 直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
						0百万円
						0百万円
						0百万円
県債						0百万円
						0百万円
						0百万円
						0百万円
一般財源						0百万円
						0百万円
						0百万円
						0百万円
その他						0百万円
						0百万円
						0百万円
	計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
48 ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
49 ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
50 施設全体の方針 51				
施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。 ただし、当該庁舎は耐用年数等から判断し現状維持とする。				

7 長寿命化等対策の方向性等

52 長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。 ただし、当該庁舎は耐用年数等から判断し、現時点改修計画はなし。					
53 主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
54 概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
						0 百万円
						0 百万円
						0 百万円
県債						0 百万円
						0 百万円
						0 百万円
						0 百万円
一般財源						0 百万円
						0 百万円
						0 百万円
						0 百万円
その他						0 百万円
						0 百万円
						0 百万円
						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1 施設名称	機動隊道場棟(県有部分)		策定年月	R1.9	最終更新	R7.12
2 所在地	滝沢市砂込389番12		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4 都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5 敷地面積	18,269.74 m ²		建築面積	423.38 m ²	延床面積	963.32 m ²
6 施工年度 (建築年月)	2009年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	16年	施設内棟数	1棟
7 設置根拠	有					
8 設置目的	岩手県警察本部組織規則(昭和34年岩手県公安委員会規則第2号)第26条の規定に基づき、警備実施における部隊活動、爆発物処理等を任務とする機動隊を運営するための行政庁舎及び訓練施設					
9 施設の概況	<p>○ 平成21年3月、県有地である敷地内に新築整備した施設であり、道場棟のほか、庁舎棟、宿舎・炊食棟、潜水訓練棟、車庫棟(2棟)及びレンジャー訓練棟を配置している。 国費の工事に県費を継ぎ足し整備したことから、当該負担相当分を県有財産として管理している。 ※「道場棟」の延床面積963.32m²のうち県有403.75m²、「庁舎棟」の延床面積971.31m²のうち県有142.80m²、その他は国有施設 </p>					
10 未利用設備	無		大規模改修	無		
11 使用許可等の有無	無					
12 主要棟	名称	機動隊(県有部分)			現況写真	
13	構造	S造	種目	事務所建		
14	階数	地上	2階	地下		
15	建築面積	423.38 m ²	延床面積	963.32 m ²		
16	建築年月日	2009年3月	法定耐用年数	38年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他特記事項					

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	35人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		35人	35人	35人	35人	35人
	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時【A】 (H26年10月時点)	1,284,384人	現 在【B】 (R6年10月時点)	1,144,407人	増減率 (マクロデータ) ▲ 10.9%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	16,654	100.0%	17,287	100.0%	17,291	100.0%
人件費	12,177	73.1%	12,464	72.1%	12,887	74.5%
物件費等	362	2.2%	386	2.2%	408	2.4%
維持修繕費	160	1.0%	482	2.8%	41	0.2%
減価償却費	3,955	23.7%	3,955	22.9%	3,955	22.9%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	16,654	100.0%	17,287	100.0%	17,291	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 16,654		▲ 17,287		▲ 17,291	

年間利用者数	35人	35人	35人
延床面積当たりコスト	17,288円/m ²	17,945円/m ²	17,949円/m ²
利用者1人当たりコスト	475,829円/人	493,914円/人	494,029円/人
(参考)県民1人当たりコスト	14円/人	15円/人	15円/人
有形固定資産減価償却率	31.8%	34.3%	36.7%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

	① 建築	② 電気設備	③ 機械設備			
33 主な建築・設備	屋根仕上:金属	受変電設備:屋内形、キュービクル式	冷暖房:局所暖房方式(FFストーブ等)			
		発電設備:ディーゼル式	局所冷房方式(エアコン等)			
		警報設備:自動火災報知設備	給水設備:加圧送水方式、受水槽			
			排水設備:浄化槽			
34 劣化度調査						
35 定期点検	R6.2 建築点検	R6.2 建築設備点検	R6.2 建築設備点検			
	外壁クラック、吹付タイル剥離	非常用照明不点灯	ガスタンク発錆			
	鉄骨柱 耐火塗装の剥離		ガス配管発錆			
36 改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
47 直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫					0百万円
	県債					0百万円
	一般財源					0百万円
	その他					0百万円
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
48 ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
49 ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
50 施設全体の方針	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			
51				

7 長寿命化等対策の方向性等

52 長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
53 主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
54 概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	国庫					0 百万円
	県債					0 百万円
	一般財源					0 百万円
	その他					0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1 施設名称	警察学校体育館		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	盛岡市青山一丁目24番		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
5 敷地面積	24,728.57 m ²		建築面積	982.80 m ²	延床面積	982.80 m ²
6 竣工年度 (建築年月)	1988年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	37年	施設内棟数	1棟
7 設置根拠	無					
8 設置目的	警察学校入校生等の体力鍛成等に利用するため、国有地である敷地内に国と合築整備したもの。					
9 施設の概況	○ 警察共済組合の不動産投資事業により昭和63年3月に建築、平成10年償還完了により所有権取得、財産区分として玄関、トレーニングルーム、更衣室、シャワー室、トイレ、手洗場部分は国有財産、アリーナ、ステージ等が県有財産					
10 未利用設備	無		大規模改修	無		
11 使用許可等の有無	無					
12	名称	警察学校体育館			現況写真	
13	構造	S造	種目			
14	階数	地上	1階	地下		
15	建築面積	982.80 m ²	延床面積	982.80 m ²		
16	建築年月日	1988年3月	法定耐用年数	38年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他特記事項					

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	19人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 増減率 (R5/過去5年平均)
		19人	19人	19人	19人	▲ 1.0%
	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時【A】 (H26年10月時点)	1,284,384人	現 在【B】 (R6年10月時点)	1,144,407人	増減率 (マクロデータ) ▲ 10.9%
	支出合計	72,830	100.0%	73,318	100.0%	75,686 100.0%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除外)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	構成比		構成比		構成比	
経常費用	72,830	100.0%	73,318	100.0%	75,686	100.0%
人件費	71,626	98.3%	73,318	100.0%	75,686	100.0%
物件費等		0.0%		0.0%		0.0%
維持修繕費		0.0%		0.0%		0.0%
減価償却費	1,204	1.7%	0	0.0%	0	0.0%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	72,830	100.0%	73,318	100.0%	75,686	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 72,830		▲ 73,318		▲ 75,686	

年間利用者数	19人	20人	19人
延床面積当たりコスト	74,105円/m ²	74,601円/m ²	77,011円/m ²
利用者1人当たりコスト	3,833,158円/人	3,665,900円/人	3,983,474円/人
(参考)県民1人当たりコスト	61円/人	62円/人	65円/人
有形固定資産減価償却率	100.0%	100.0%	100.0%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

	① 建築	② 電気設備	③ 機械設備			
33 主な建築・設備	屋根仕上:金属		換気設備:三種換気			
			給水設備:水道直結方式			
			給湯設備:貯湯機器電気温水器			
34 劣化度調査						
35 定期点検	R4.1 建築点検	R6.2 建築設備点検	R6.2 建築設備点検			
	アリーナ引違戸の扉表面の穴	非常用照明不点灯	シャワー根元より水漏れ			
	アリーナ天井の鋲	蛍光灯不良				
36 改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
47 直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫					0百万円
	県債					0百万円
	一般財源					0百万円
	その他					0百万円
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
48 ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
49 ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
50 施設全体の方針	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			
51				

7 長寿命化等対策の方向性等

52 長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
53 主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
54 概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	国庫					0 百万円
	県債					0 百万円
	一般財源					0 百万円
	その他					0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ(個表:庁舎等用)

No. 10

1 施設概要

1 施設名称	見前幹部交番・機動捜査隊合同庁舎		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	盛岡市津志田14地割37番3		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	該当
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
5 敷地面積	3,029.92 m ²		建築面積	406.11 m ²	延床面積	817.12 m ²
6 竣工年度 (建築年月)	1998年2月 (R7.4.1現在)		経過年数	27年	施設内棟数	1棟
7 設置根拠	有					
8 設置目的	警察法第53条及び岩手県警察組織規則第44条の規定に基づき盛岡東警察署の下部機構として法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を執行する行政庁舎					
9 施設の概況	○ 敷地:県有地、庁舎1階(交番施設:事務室、コミュニティールーム、取調室、更衣室仮眠室、多目的トイレ、女性職員用設備・更衣室、仮眠室、シャワー室)、2階は本部刑事部機動捜査隊施設(事務室、会議室、取調室、更衣室、仮眠室ほか)、車庫2棟(S造)					
10 未利用設備	無		大規模改修	無		
11 使用許可等の有無	無					
12 主要棟	名称	見前幹部交番・機動捜査隊合同庁舎			現況写真 	
13	構造	S造	種目	事務所建		
14	階数	地上	2階	地下		
15	建築面積	406.11 m ²	延床面積	817.12 m ²		
16	建築年月日	1998年2月	法定耐用年数	38年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他特記事項					

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	交番:終日		開館時間	交番:終日	
	職員数	34人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 増減率 (R5/過去5年平均)
		33人	33人	33人	33人	38人 0.0
	施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時【A】 (H26年10月時点)	1,284,384人	現 在【B】 (R6年10月時点)	1,144,407人	増減率 (マクロデータ) ▲ 10.9%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	構成比		構成比		構成比	
経常費用	59,099	100.0%	52,088	100.0%	57,407	100.0%
人件費	48,007	81.2%	40,805	78.3%	46,956	81.8%
物件費等	4,764	8.1%	5,106	9.8%	4,441	7.7%
維持修繕費	318	0.5%	167	0.3%	0	0.0%
減価償却費	6,010	10.2%	6,010	11.5%	6,010	10.5%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	59,099	100.0%	52,088	100.0%	57,407	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 59,099		▲ 52,088		▲ 57,407	

年間利用者数	33人	38人	34人
延床面積当たりコスト	72,326円/m ²	63,746円/m ²	70,255円/m ²
利用者1人当たりコスト	1,790,879円/人	1,370,737円/人	1,688,441円/人
(参考)県民1人当たりコスト	49円/人	44円/人	49円/人
有形固定資産減価償却率	67.3%	69.9%	72.6%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

	① 建築	② 電気設備	③ 機械設備			
33 主な建築・設備	屋根仕上:シート防水	発電設備:太陽光発電設備(10kWh)、冷暖房方式:局所暖房方式(FFヒーター)				
		蓄電池(15kWh)	局所冷房方式(エアコン)			
			給水設備:水道直結方式			
			給湯設備:ガス給湯器			
34 劣化度調査						
35 定期点検						
36 改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
47 直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
						0百万円
						0百万円
						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
48 ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
49 ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
50 施設全体の方針	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			

7 長寿命化等対策の方向性等

52 長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
53 主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
				・照明LED化	・照明LED化	
54 概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	1.6 百万円	1.6 百万円	3.2 百万円
	国庫					0.0 百万円
	県債					0.0 百万円
	一般財源			1.6 百万円	1.6 百万円	3.2 百万円
	その他					0.0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1 施設名称	盛岡東警察署		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	盛岡市内丸62番8		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	該当
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	防火地域	用途地域	商業地域
5 敷地面積	3,245.56 m ²		建築面積	1,298.02 m ²	延床面積	14,282.39 m ²
6 竣工年度 (建築年月)	2002年10月		経過年数 (R7.4.1現在)	22年	施設内棟数	1棟
7 設置根拠	有					
8 設置目的	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている盛岡東警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎					
9 施設の概況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2002年(H14)、旧庁舎跡地(県有地)に建築したSRC造地上10階地下1階の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を設置 ○ 県内警察署唯一、屋上ヘリポートを設置しており、免震装置を備えた災害対応拠点であり、警察本部5所属(留置管理課、情報管理課、鑑識課、科学捜査研究所及び交通規制課)が入居 					
10 未利用設備	無			大規模改修	無	
11 使用許可等の有無	無					
12 主要棟	名称	盛岡東警察署			現況写真	
13	構造	SRC造	種目	事務所建		
14	階数	地上		地下		
15	建築面積	1,298.02 m ²	延床面積	14,282.39 m ²		
16	建築年月日	2002年10月	法定耐用年数	50年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他の記事項					

2 利用状況

20	開館日	平日(土日、休日を除く)	開館時間	9:00~17:45	
24	職員数	256人	(職員数のうち団体等職員数)		
R5 利用状況	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		266人	261人	258人	256人
26	施設利用対象者 マクロデータ ※管内人口	開設当時[A] (H27年1月時点)	177,071人	現 在 [B] (R6年1月時点)	217,222人
					増減率 (マクロデータ)
					22.7%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	336,553	100.0%	352,714	100.0%	358,661	100.0%
人件費	48,007	14.3%	40,805	11.6%	46,956	13.1%
物件費等	160,096	47.6%	185,562	52.6%	183,656	51.2%
維持修繕費	5,732	1.7%	3,629	1.0%	5,331	1.5%
減価償却費	122,718	36.5%	122,718	34.8%	122,718	34.2%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	336,553	100.0%	352,714	100.0%	358,661	100.0%
経常収益(直接的収入)	0-		0-		0-	
使用料・手数料	-		-		-	
その他	-		-		-	
臨時利益(直接的収入)	0-		0-		0-	
資産売却益	-		-		-	
その他	-		-		-	
補助金等(間接的収入)	0-		0-		0-	
国庫補助金	-		-		-	
その他	-		-		-	
収入合計	0-		0-		0-	
年間コスト	▲ 336,553		▲ 352,714		▲ 358,661	

年間利用者数	256人	251人	256人
延床面積当たりコスト	23,564円/m ²	24,696円/m ²	25,112円/m ²
利用者1人当たりコスト	1,314,660円/人	1,405,235円/人	1,401,020円/人
(参考)県民1人当たりコスト	281円/人	299円/人	308円/人
有形固定資産減価償却率	38.7%	40.7%	42.6%

(参考)岩手県の人口 (単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建築	② 電気設備	③ 機械設備		
33 主な建築・設備	屋根仕上:塗膜防水	受変電設備:屋内形、キュービクル式	冷暖房設備:冷温水方式(中央式冷暖房)、局所冷房方式			
		発電設備:屋外形、ガスターイン				
		警報設備:自動火災報知設備	熱源設備:真空式温水発生器、チーリング			
		構内交換設備:電子交換機	ユニット			
		エレベーター設備:常用2台、非常用1台	空調設備:ユニット型、パッケージ型、ファンコイルユニット			
34 劣化度調査	2階軒下外壁材の剥離		空調設備の更新時期			
	地下駐車設備の劣化					
35 定期点検	R6.2 建築点検	R6.2 建築設備点検	R6.2 建築設備点検			
	基礎ひび割れ	照明器具不点灯	洗面排水トラップに水錆			
	屋上防水シートの汚れ		給湯器水栓の固定不良			
36 改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	止水設備設置(R5)【9】	受変電設備高圧き電盤改修(R2)【1】	高圧真空遮断器改修(R6)【5】			
	ヘルリポート床面補修(R4)【2】	高圧交流負荷開閉器改修(R1)【2】	高圧真空遮断器改修(R5)【3】			
	リモコン式ゲート装置改修(R1)【3】		計装設備改修(R1)【2】			
47 直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫					0百万円
	県債	1百万円		1百万円	9百万円	5百万円
	一般財源			1百万円	4百万円	2百万円
	その他					0百万円
計		1百万円	0百万円	2百万円	13百万円	7百万円
						23百万円

5 施設評価

1次評価(定量評価)		評価・分析結果		2次評価(定性評価)		評価結果	
48 ソフト(利用状況×経費効率)		改善・見直し(経費効率)		施策上の必要性		高	
49 ソフト×ハード(建物性能)		改善・見直し(複合化等)		代替の可能性		高	

6 今後の方向性(たたき台)

50 施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			

7 長寿命化等対策の方向性等

52 長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
53 主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	・吸収冷温水器ほか改修工事 ・受変電設備改修工事	・曇取替 ・交流無停電電源装置改修	・機械式駐車装置改修・非常用発電設備改修・ヘリポート用昇降装置改修・中央監視装置改修	・機械式駐車装置改修 ・照明LED化	・機械式駐車装置改修 ・照明LED化	
54 概算費用(見込)	33 百万円	70 百万円	396 百万円	12 百万円	16 百万円	527 百万円
	国庫					0 百万円
	県債	25 百万円	53 百万円	297 百万円	4 百万円	386 百万円
	一般財源	8 百万円	17 百万円	99 百万円	8 百万円	141 百万円
	その他					0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ(個表:庁舎等用)

No. 12

1 施設概要

1 施設名称	盛岡西警察署		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	盛岡市青山三丁目40番15		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	該当
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
5 敷地面積	4,300.93 m ²		建築面積	758.53 m ²	延床面積	3,071.29 m ²
6 竣工年度 (建築年月)	1986年10月 (R7.4.1現在)		経過年数	38年	施設内棟数	3棟
7 設置根拠	有					
8 設置目的	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている盛岡西警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎					
9 施設の概況	○ 1986年(S61)盛岡市から土地交換により取得した敷地内に建築したRC造地上4階建の庁舎には、留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備し、付属施設として車庫兼倉庫2棟(RC2、S2)及び受水槽室(RC1)を設置					
10 未利用設備	無		大規模改修	有	空調設備改修工事(R4)	
11 使用許可等の有無	無					
12	名称	盛岡西警察署			現況写真	
13	構造	RC造	種目	事務所建		
14	階数	地上	4階	地下		
15	建築面積	758.53 m ²	延床面積	3,071.29 m ²		
16	建築年月日	1986年10月	法定耐用年数	50年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他特記事項					

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	106人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		118人	112人	112人	113人	113人
	施設利用対象者 マクロデータ ※管内人口	開設当時[A] (H27年1月時点)	140,215人	現在[B] (R6年1月時点)	133,298人	増減率 (マクロデータ)
						▲ 4.9%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	構成比			構成比		
		経常費用	72,988	100.0%	74,722	100.0%
経常費用	34,173	46.8%	32,646	43.7%	29,523	39.6%
人件費	21,572	29.6%	25,669	34.4%	26,090	35.0%
物件費等	2,301	3.2%	1,465	2.0%	3,912	5.3%
維持修繕費	14,942	20.5%	14,942	20.0%	14,942	20.1%
減価償却費		0.0%		0.0%		0.0%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	72,988	100.0%	74,722	100.0%	74,467	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 72,988		▲ 74,722		▲ 74,467	

年間利用者数	113人	113人	106人
延床面積当たりコスト	23,765円/m ²	24,329円/m ²	24,246円/m ²
利用者1人当たりコスト	645,912円/人	661,257円/人	702,519円/人
(参考)県民1人当たりコスト	61円/人	63円/人	64円/人
有形固定資産減価償却率	73.7%	75.6%	77.5%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

番号:建物名称		庁舎棟		車庫棟1		車庫棟2				
34	構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造				
35	階数	地上	4階	地下		地上	2階			
36	建築面積	758.53 m ²		186.10 m ²		194.38 m ²				
37	延床面積	3,071.29 m ²		202.60 m ²		294.22 m ²				
38	建築年月	1986年10月	耐用年数	50年	1986年10月	耐用年数	38年			
39	耐震診断 / 耐震改修	不要	不要		不要	不要	不要			
40	その他特記事項									
41	主な建築・設備	建築	屋根仕上:シート防水		屋根仕上:シート防水		屋根仕上:金属			
42										
43										
44	定期点検	建築	外構擁壁の剥離							
45										
46		電気設備	建物内部の劣化							
47	改修・大規模修繕等工事履歴 【百万円】	機械設備	屋上照明の劣化							
48										
49			4階機械室内の漏水							
50	トイレ排水管の詰まり									
51	直近5年の維持修繕・改修費	建築	R4.1 車庫建築点検 堅錆腐食 タイヤ置き場の鉄皮錆		R4.1 車庫建築点検 堅錆腐食 1階東側外壁出隅の欠け					
52										
53			R6.2 車庫建築設備点検 照明器具カバー破損 照明不点灯		R6.2 車庫建築設備点検 照明器具不点灯					
54	改修・大規模修繕等工事履歴 【百万円】	電気設備	R6.2 車庫建築設備点検 堅錆に錆発生 ウェザーカバー腐食		R6.2 車庫建築設備点検 換気扇作動時異音 ウェザーカバー破損					
55										
56										
57	直近5年の維持修繕・改修費	機械設備	外壁防護措置(R2)【3】 外壁改修(R3)【40】							
58										
59										
60	改修・大規模修繕等工事履歴 【百万円】		受変電設備改修(R6)【4】							
61										
62										
63	地下貯蔵タンク改修(R6)【3】									
64										
65	空調設備改修(R4)【38】									
66										
67	直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
68	改修・大規模修繕等工事履歴 【百万円】	建築	国庫				合計			
69			県債	2百万円	38百万円	34百万円	0百万円			
70			一般財源	1百万円	2百万円	5百万円	5百万円			
71			その他				79百万円			
72	計		3百万円	40百万円	39百万円	0百万円	10百万円			
73							0百万円			
74							89百万円			

5 施設評価

1次評価(定量評価)		評価・分析結果	2次評価(定性評価)		評価結果
47	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高	
48	ソフト×ハード(建物性能)	廃止	代替の可能性	高	

6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針		機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。					

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。			
57	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度 令和11年度 備考/合計 ・車庫屋上防水改修・非常放送設備改修・擁壁・自隠しフェンス改修・昇降機改修設計 ・昇降機改修・照明LED化			
58	概算費用(見込)	0百万円 11百万円 37百万円 1.6百万円 1.6百万円 51.2百万円			
	国庫				0.0百万円
	県債		8百万円	27百万円	35.0百万円
	一般財源		3百万円	10百万円	16.2百万円
	その他				0.0百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1 施設名称	岩手警察署		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	岩手町大字五日市第11地割53番3		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	該当
4 都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5 敷地面積	5,049.71 m ²		建築面積	578.22 m ²	延床面積	2,126.13 m ²
6 竣工年度 (建築年月)	1995年11月 (R7.4.1現在)		経過年数	29年	施設内棟数	2棟
7 設置根拠	有					
8 設置目的	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている岩手警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎					
9 施設の概況	○ 1993年(H5)に岩手町から買入取得した敷地内に建築したRC造地上4階の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫兼倉庫(S2)、受水槽発電機室(S1)を設置 1999年(H11)、岩手山噴火災害等対応のため、災害装備品倉庫(S1)を増築					
10 未利用設備	無		大規模改修	無		
11 使用許可等の有無	無					
12 主要棟	名称	岩手警察署			現況写真	
13	構造	RC造	種目	事務所建		
14	階数	地上	4階	地下		
15	建築面積	578.22 m ²	延床面積	2,126.13 m ²		
16	建築年月日	1995年11月	法定耐用年数	50年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他特記事項					

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	64人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		66人	66人	63人	65人	65人
	施設利用対象者 マクロデータ ※管内人口	開設当時[A] (H27年1月時点)	49,103人	現在[B] (R6年1月時点)	40,815人	増減率 (マクロデータ)
						▲ 16.9%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
	経常費用	人件費	物件費等	維持修繕費	減価償却費	支払利息
経常費用	49,221	100.0%	49,886	100.0%	47,805	100.0%
人件費	18,707	38.0%	18,770	37.6%	18,110	37.9%
物件費等	12,573	25.5%	13,657	27.4%	13,343	27.9%
維持修繕費	2,353	4.8%	1,871	3.8%	764	1.6%
減価償却費	15,588	31.7%	15,588	31.2%	15,588	32.6%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	49,221	100.0%	49,886	100.0%	47,805	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 49,221		▲ 49,886		▲ 47,805	

年間利用者数	65人	65人	64人
延床面積当たりコスト	23,151円/m ²	23,463円/m ²	22,485円/m ²
利用者1人当たりコスト	757,246円/人	767,477円/人	746,953円/人
(参考)県民1人当たりコスト	41円/人	42円/人	41円/人
有形固定資産減価償却率	57.5%	59.7%	61.8%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

番号:建物名称	庁舎棟			車庫棟				
構造 / 種目	RC造		事務所建		S造	車庫建		
階数	地上	4階	地下		地上	2階	地下	地上 地下
建築面積	578.22 m ²			178.22 m ²				
延床面積	2,126.13 m ²			220.71 m ²				
建築年月	1995年11月	耐用年数	50年	1995年11月	耐用年数	31年		
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要		不要	不要			
その他特記事項								
主な建築・設備	建築	屋上仕上:シート防水		屋根仕上:金属				
	電気設備	受変電設備:屋外形、キュービクル式						
		発電設備:屋外形、ディーゼル式						
		EV設備:常用1基						
	機械設備	冷暖房設備:温水方式、FFストーブ						
		熱源設備:真空式温水発生機						
		空調設備:パッケージ形						
		排水設備:浄化槽						
劣化度調査	建築	屋上シート防水の劣化						
		屋上アンテナ架台の劣化						
	電気設備							
	機械設備							
定期点検	建築			R4.1 車庫建築点検 シャッターポルト鉄皮部の塗装剥がれ 車庫内土間のクラック				
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	電気設備			R6.2 車庫建築設備点検 指摘なし				
	機械設備			R6.2 車庫建築設備点検 指摘なし				
直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計		
	国庫					0百万円		
	県債				2百万円	2百万円		
	一般財源				1百万円	1百万円		
	その他					0百万円		
計		0百万円	0百万円	0百万円	3百万円	0百万円	3百万円	

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			

7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
			・屋上防水改修 ・外階段金網修繕 ・大会議室エアコン取替	・受変電設備改修 ・照明LED化	・昇降機改修設計 ・照明LED化	
概算費用(見込)	0百万円	0百万円	44百万円	5.6百万円	3.6百万円	53.2百万円
国庫						0.0百万円
県債			33百万円	3.3百万円	1.8百万円	38.1百万円
一般財源			11百万円	2.3百万円	1.8百万円	15.1百万円
その他						0.0百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1	施設名称	紫波警察署		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12					
2	所在地	紫波町桜町字大坪51番2		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産					
3	所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	該当					
4	都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	準工業地域					
5	敷地面積	8,233.79 m ²		建築面積	624.46 m ²	延床面積	1,048.00 m ²					
6	竣工年度 (建築年月)	1974年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	51年	施設内棟数	1棟					
7	設置根拠	有										
8	設置目的	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている紫波警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎										
9	施設の概況	<p>○ 1973年(S48)紫波町から買入取得した敷地内に建築したRC造地上2階建の庁舎には、留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属等として車庫棟(S造)、倉庫棟(W造)及びポンプ室(CB造)を設置</p> <p>○ 2000年(H12)、木造平屋建の分庁舎(交通課)を増築</p> <p>※ 同敷地内に署長公舎(W1、1975年築)及び職員宿舎(RC3、1975年築)を併設</p>										
10	未利用設備	無			大規模改修	無						
11	使用許可等の有無	無										
12	名称	紫波警察署			現況写真							
13	構造	RC造	種目	事務所建								
14	階数	地上	2階	地下								
15	建築面積	624.46 m ²	延床面積	1,048.00 m ²								
16	建築年月日	1974年3月	法定耐用年数	50年								
17	耐震診断	済	耐震改修	不要								
18	その他特記事項											

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	62人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		66人	64人	61人	64人	63人
	施設利用対象者 マクロデータ ※管内人口	開設当時【A】 (H27年1月時点)	111,353人	現 在【B】 (R6年1月時点)	59,245人	増減率 (マクロデータ)
						▲ 46.8%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	34,746	100.0%	35,052	100.0%	32,249	100.0%
人件費	18,149	52.2%	18,528	52.9%	16,743	51.9%
物件費等	10,276	29.6%	10,396	29.7%	10,166	31.5%
維持修繕費	549	1.6%	373	1.1%	242	0.8%
減価償却費	5,772	16.6%	5,755	16.4%	5,098	15.8%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	34,746	100.0%	35,052	100.0%	32,249	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 34,746		▲ 35,052		▲ 32,249	

年間利用者数	64人	63人	62人
延床面積当たりコスト	33,155円/m ²	33,447円/m ²	30,772円/m ²
利用者1人当たりコスト	542,906円/人	556,381円/人	520,145円/人
(参考)県民1人当たりコスト	29円/人	30円/人	28円/人
有形固定資産減価償却率	90.2%	92.6%	94.7%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

	① 建築	② 電気設備	③ 機械設備			
33 主な建築・設備	屋根仕上:シート防水	発電設備:屋外形、ディーゼル式	冷暖房:温水方式、局所冷房式(エアコン)			
		警報設備:自動火災報知設備	給水設備:高置水槽方式、揚水ポンプ			
			給湯設備:中央式、暖房用ボイラー兼用			
34 劣化度調査	敷地内舗装、外構フェンスの劣化					
	屋根材、雨樋、外壁の劣化					
	建物内部の劣化					
35 定期点検						
36 改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】			暖房用温水循環ポンプ交換(R6)【1】			
47 直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫					0百万円
	県債					1百万円
	一般財源					0百万円
	その他					0百万円
計		0百万円	0百万円	0百万円	1百万円	1百万円

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
48 ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
49 ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	更新
50 施設全体の方針	岩手県警察警察署再編等長期計画において、交通機動隊庁舎との一体整備を計画しており、現庁舎は令和9～10年度の解体工事を計画している。			

7 長寿命化等対策の方向性等

52 長寿命化等対策の方向性	岩手県警察警察署再編等長期計画において、交通機動隊庁舎との一体整備を計画しており、現庁舎は令和9～10年度の解体工事を計画している。					
53 主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	第1期建築工事(1年目)ほか	第1期建築工事(2年目)ほか	第1期建築工事(3年目)、第2期建築工事(1年目)ほか	第2期建築工事(2年目)ほか	交通機動隊庁舎解体工事ほか	紫波警察署等庁舎新築事業費を計上
54 概算費用(見込)	171 百万円	918 百万円	1,836 百万円	210 百万円	54 百万円	3,189 百万円
	国庫	0 百万円	205 百万円	307 百万円		512 百万円
	県債	161 百万円	534 百万円	1,165 百万円	47 百万円	2,064 百万円
	一般財源	10 百万円	179 百万円	364 百万円	7 百万円	613 百万円
	その他					0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1 施設名称	花巻警察署		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12		
2 所在地	花巻市下小舟渡309番2		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産		
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	該当		
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	準工業地域		
5 敷地面積	7,056.42 m ²		建築面積	794.85 m ²	延床面積	2,760.02 m ²		
6 竣工年度 (建築年月)	1997年11月		経過年数 (R7.4.1現在)	27年	施設内棟数	2棟		
7 設置根拠	有							
8 設置目的	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている花巻警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎							
9 施設の概況	○ 1995年(H7)民間から買入取得した敷地内に建築したRC造地上4階建の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫棟(S1)及びエネルギー棟(S1)を設置							
10 未利用設備	無			大規模改修	無			
11 使用許可等の有無	無							
12 主要棟	名称	花巻警察署		現況写真				
13	構造	RC造	種目					
14	階数	地上	4階					
15	建築面積	794.85 m ²	延床面積					
16	建築年月日	1997年11月	法定耐用年数					
17	耐震診断	不要	耐震改修					
18	その他特記事項							

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	68人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		68人	67人	65人	67人	69人
	施設利用対象者 マクロデータ ※管内人口	開設当時[A] (H27年1月時点)	99,773人	現 在[B] (R6年1月時点)	91,094人	増減率 (マクロデータ)
						▲ 8.7%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	68,247	100.0%	69,214	100.0%	66,975	100.0%
人件費	26,435	38.7%	25,512	36.9%	23,367	34.9%
物件費等	20,637	30.2%	22,375	32.3%	22,526	33.6%
維持修繕費	2,056	3.0%	2,228	3.2%	1,983	3.0%
減価償却費	19,119	28.0%	19,099	27.6%	19,099	28.5%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	68,247	100.0%	69,214	100.0%	66,975	100.0%
経常収益(直接的収入)	0-		0-		0-	
使用料・手数料	-		-		-	
その他	-		-		-	
臨時利益(直接的収入)	0-		0-		0-	
資産売却益	-		-		-	
その他	-		-		-	
補助金等(間接的収入)	0-		0-		0-	
国庫補助金	-		-		-	
その他	-		-		-	
収入合計	0-		0-		0-	
年間コスト	▲ 68,247		▲ 69,214		▲ 66,975	

年間利用者数	67人	69人	68人
延床面積当たりコスト	24,727円/m ²	25,077円/m ²	24,266円/m ²
利用者1人当たりコスト	1,018,612円/人	1,003,101円/人	984,926円/人
(参考)県民1人当たりコスト	57円/人	59円/人	58円/人
有形固定資産減価償却率	53.6%	55.7%	57.9%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

番号:建物名称	庁舎棟			車庫棟				
構造 / 種目	RC造		事務所建		S造	車庫建		
階数	地上	4階	地下		地上	1階	地下	地上 地下
建築面積	794.85 m ²			608.85 m ²				
延床面積	2,760.02 m ²			581.17 m ²				
建築年月	1997年11月	耐用年数	50年	1997年11月	耐用年数	31年	耐用年数	
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要		不要	不要			
その他特記事項								
主な建築・設備	建築	屋根仕上:シート防水		屋根仕上:金属				
		受変電設備:屋外形、キュービクル式						
		発電設備:屋内形、ディーゼル式						
	電気設備	警報設備:自動火災報知設備						
		EV設備:常用1基						
		給水設備:加圧送水方式、受水槽						
		給湯設備:中央式:真空式温水発生						
		機械設備		機(暖房兼用)、局所式:ガス湯沸器				
		冷暖房設備:温水方式、冷温水方式						
劣化度調査	建築	外壁の劣化、						
		窓枠シーリングの劣化(雨水浸入)						
	電気設備							
	機械設備							
定期点検	建築			R4.12 車庫建築点検 外壁シール切れ				
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	電気設備			R6.2 車庫建築設備点検 指摘無し				
	機械設備			R6.2 車庫建築設備点検 指摘無し				
	建築							
直近5年の維持修繕・改修費								
	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	国庫							合計
	県債							0百万円
	一般財源							6百万円
直近5年の維持修繕・改修費	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	その他							1百万円
	計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	6百万円	3百万円	9百万円

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			

7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	・吸収冷温水器ほか改修	・止水板設置	・外壁改修設計 ・止水板設置	・外壁改修 ・止水板設置	・受変電設備改修 ・照明LED化	
概算費用(見込)	18百万円	9百万円	12百万円	58百万円	6.0百万円	103.0百万円
国庫						0.0百万円
県債	14百万円	7百万円	9百万円	43百万円	3.3百万円	76.3百万円
一般財源	4百万円	2百万円	3百万円	15百万円	2.7百万円	26.7百万円
その他						0.0百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ(個表:庁舎等用)

No. 16

1 施設概要

1 施設名称	北上警察署		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	北上市九年橋三丁目245番		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	該当
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	準防火地域	用途地域	第二種住居地域
5 敷地面積	6,880.94 m ²		建築面積	778.63 m ²	延床面積	2,674.62 m ²
6 竣工年度 (建築年月)	1993年9月 (R7.4.1現在)		経過年数	31 年	施設内棟数	2 棟
7 設置根拠	有					
8 設置目的	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている北上警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎					
9 施設の概況	○ 1991年(H3)民間から買入取得した敷地内に建築したRC造地上4階建の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫(S1)、交通機材庫兼機械室(S1)及びゴミ集積所(S1)を設置					
10 未利用設備	無		大規模改修	無		
11 使用許可等の有無	無					
12 主要棟	名称	北上警察署			現況写真	
13	構造	RC造	種目	事務所建		
14	階数	地上	4階	地下		
15	建築面積	778.63 m ²	延床面積	2,674.62 m ²		
16	建築年月日	1993年9月	法定耐用年数	50 年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他特記事項					

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	70 人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		71人	69人	70人	70人	70人
	施設利用対象者 マクロデータ ※管内人口	開設当時[A] (H27年1月時点)	100,032人	現 在[B] (R6年1月時点)	96,387人	増減率 (マクロデータ) ▲ 3.6%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	構成比		構成比		構成比	
		経常費用	46,347	100.0%	48,387	100.0%
経常費用	15,394	33.2%	15,567	32.2%	14,391	28.8%
人件費	15,458	33.4%	17,499	36.2%	18,143	36.3%
物件費等	1,474	3.2%	1,300	2.7%	3,701	7.4%
維持修繕費	14,021	30.3%	14,021	29.0%	13,747	27.5%
減価償却費		0.0%		0.0%		0.0%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	46,347	100.0%	48,387	100.0%	49,982	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 46,347		▲ 48,387		▲ 49,982	

年間利用者数	70 人	70 人	70 人
延床面積当たりコスト	17,328 円/m ²	18,091 円/m ²	18,688 円/m ²
利用者1人当たりコスト	662,100 円/人	691,243 円/人	714,029 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	39 円/人	41 円/人	43 円/人
有形固定資産減価償却率	76.3 %	77.4 %	78.5 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

番号:建物名称	庁舎棟			車庫棟				
構造 / 種目	RC造		S造					
階数	地上	4階	地下	地上	2階	地下	地上	地下
建築面積	778.63 m ²			347.50 m ²				
延床面積	2,674.62 m ²			384.30 m ²				
建築年月	1993年9月	耐用年数	50年	1993年9月	耐用年数	31年		
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要	不要	不要	不要	不要		
その他特記事項								
主な建築・設備	建築	屋根仕上:シート防水、塗膜防水			屋根仕上:金属			
		受変電設備:屋外形、キュービクル式						
		発電設備:屋内形、ディーゼル式						
	電気設備	警報設備:自動火災報知設備						
		EV設備:常用1基						
		空調・放熱機器:パネルヒーター、						
		パッケージ形空調機						
		給湯設備:真空式温水発生器(貯湯タンク)、ガス給湯器						
劣化度調査	建築	屋根材の劣化(錆)						
	電気設備	受水槽の水漏れ						
		空調機の故障(取調室)						
定期点検	建築	R4.12 車庫建築点検 外壁材ビス廻りの劣化 外壁のシール切れ						
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	電気設備	R6.2 車庫建築設備点検 照明不良						
	機械設備	R6.2 車庫建築設備点検 指摘なし						
直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計		
国庫						0百万円		
県債			8百万円		1百万円	9百万円		
一般財源			1百万円		1百万円	2百万円		
その他						0百万円		
計	0百万円	0百万円	9百万円	0百万円	2百万円	11百万円		

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			

7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	・受水槽タンク及び給水ポンプ交換・昇降機改修・受変電設備改修工事		・手洗い器、トイレ自動フラッシュバルブ修繕		・照明LED化	
概算費用(見込)	0百万円	62百万円	4百万円	0百万円	1.5百万円	68百万円
国庫						0百万円
県債		47百万円	3百万円			50百万円
一般財源		15百万円	1百万円		1.5百万円	18百万円
その他						0百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1 施設名称	奥州警察署		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	奥州市水沢真城字北塩加羅37番3		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	該当
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	準工業地域
5 敷地面積	6,389.61 m ²		建築面積	714.59 m ²	延床面積	2,903.75 m ²
6 竣工年度 (建築年月)	1983年10月		経過年数 (R7.4.1現在)	41年	施設内棟数	2棟
7 設置根拠	有					
8 設置目的	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている奥州警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎					
9 施設の概況	<p>○ 1978年(S53)に旧水沢市土地開発公社から買入取得した敷地内に建築したRC造地上4階の庁舎には、留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫(RC1)、車庫兼倉庫(RC2)及び受水槽室(RC1)を設置 ○ 機動捜査隊県南分駐隊の設置に伴い、2000年(H12)S造平屋建の車庫を増築</p>					
10 未利用設備	無		大規模改修	無		
11 使用許可等の有無	無					
12 主要棟	名称	奥州警察署			現況写真	
13	構造	RC造	種目	事務所建		
14	階数	地上	4階	地下		
15	建築面積	714.59 m ²	延床面積	2,903.75 m ²		
16	建築年月日	1983年10月	法定耐用年数	50年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他特記事項					

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	78人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		84人	83人	80人	80人	78人
	施設利用対象者 マクロデータ ※管内人口	開設当時[A] (H27年1月時点)	108,402人	現在[B] (R6年1月時点)	124,930人	増減率 (マクロデータ) 15.2%
						▲ 3.7%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	構成比			構成比		
		経常費用	52,282	100.0%	58,030	100.0%
経常費用	52,282	100.0%	58,030	100.0%	55,459	100.0%
人件費	25,100	48.0%	26,147	45.1%	25,951	46.8%
物件費等	15,990	30.6%	18,349	31.6%	17,800	32.1%
維持修繕費	1,185	2.3%	3,590	6.2%	1,764	3.2%
減価償却費	10,007	19.1%	9,944	17.1%	9,944	17.9%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	52,282	100.0%	58,030	100.0%	55,459	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 52,282		▲ 58,030		▲ 55,459	

年間利用者数	80人	78人	78人
延床面積当たりコスト	18,005円/m ²	19,985円/m ²	19,099円/m ²
利用者1人当たりコスト	653,525円/人	743,974円/人	711,013円/人
(参考)県民1人当たりコスト	44円/人	49円/人	48円/人
有形固定資産減価償却率	80.4%	82.1%	83.7%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

番号:建物名称	庁舎棟			車庫棟		
構造 / 種目	RC造	事務所建	RC造	車庫建		
階数	地上	4階	地下	地上	2階	地下
建築面積	714.59 m ²			279.25 m ²		
延床面積	2,903.75 m ²			355.62 m ²		
建築年月	1983年10月	耐用年数	50年	1983年10月	耐用年数	38年
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要	不要	不要		耐用年数
その他特記事項						
主な建築・設備	建築	屋根仕上:シート防水		屋根仕上:シート防水		
	電気設備	受変電設備:屋外形、キュービクル式				
		発電設備:屋外形、ディーゼル式				
		EV設備:常用1基				
	機械設備	空調放熱機器:ユニット式、パッケージ型、ファンコイルユニット				
		熱源設備:無圧式温水発生器				
		給湯設備:中央式(ボイラー)、局所式				
劣化度調査	建築	外階段防水シート劣化				
	電気設備	外灯設備の錆				
		機械設備				
定期点検	建築	トイレ排水管詰まり				
		給湯用配管の腐食				
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	R4.12 車庫建築点検 基礎モルタルの欠け 屋外階段シート防水浮き				
	電気設備	R6.2 車庫建築設備点検 電力電灯盤に発錆				
直近5年の維持修繕・改修費	機械設備	R6.2 車庫建築設備点検 指摘なし				
令和2年度		令和3年度		令和4年度		合計
国庫						0百万円
県債			3百万円	29百万円		32百万円
一般財源				12百万円		12百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	3百万円	41百万円	0百万円	44百万円

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			

7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
			・屋上防水改修 ・昇降機改修設計	・昇降機改修	・愛変電設備改修 ・照明LED化	
概算費用(見込)	0百万円	0百万円	14百万円	35百万円	7.6百万円	56.6百万円
	国庫					0.0百万円
県債			11百万円	26百万円	4.5百万円	41.5百万円
一般財源			3百万円	9百万円	3.1百万円	15.1百万円
その他						0.0百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1 施設名称	江刺幹部交番		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	奥州市江刺大通り123番		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	該当
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	商業地域
5 敷地面積	3,629.46 m ²		建築面積	439.83 m ²	延床面積	861.03 m ²
6 施工年度 (建築年月)	1969年10月		経過年数 (R7.4.1現在)	55年	施設内棟数	1棟
7 設置根拠	有					
8 設置目的	警察法第53条及び岩手県警察組織規則第44条の規定に基づき奥州警察署の下部機構として法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要な行政庁舎					
9 施設の概況	○ 敷地:県有地、庁舎(旧江刺警察署の廃止に伴い、幹部交番庁舎として旧庁舎を再利用、交番(事務室、会議室、仮眠室、更衣室、取調べ室、機材庫、身障者用トイレ、女性職員用設備:トイレ、仮眠室、更衣室、シャワー室)、機動捜査隊事務室、交通機動隊事務室)、車庫(S造)					
10 未利用設備	無		大規模改修	無		
11 使用許可等の有無	無					
12	名称	江刺幹部交番		現況写真		
13	構造	RC造	種目			
14	階数	地上	2階			
15	建築面積	439.83 m ²	延床面積			
16	建築年月日	1969年10月	法定耐用年数			
17	耐震診断	済	耐震改修			
18	その他特記事項					

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	7人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		8人	8人	8人	8人	8人
	施設利用対象者 マクロデータ ※管内人口	開設当時【A】 (H27年1月時点) ※奥州警察署	108,402人	現在【B】 (R6年1月時点) ※奥州警察署	124,930人	増減率 (マクロデータ)
						▲ 12.5%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	構成比		構成比		構成比	
経常費用	32,992	100.0%	33,780	100.0%	32,896	100.0%
人件費	25,100	76.1%	26,147	77.4%	25,951	78.9%
物件費等	4,819	14.6%	5,045	14.9%	4,131	12.6%
維持修繕費	750	2.3%	265	0.8%	518	1.6%
減価償却費	2,323	7.0%	2,323	6.9%	2,296	7.0%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	32,992	100.0%	33,780	100.0%	32,896	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 32,992		▲ 33,780		▲ 32,896	

年間利用者数	8人	8人	7人
延床面積当たりコスト	38,317円/m ²	39,232円/m ²	38,205円/m ²
利用者1人当たりコスト	4,124,000円/人	4,222,500円/人	4,699,429円/人
(参考)県民1人当たりコスト	28円/人	29円/人	28円/人
有形固定資産減価償却率	76.0%	76.9%	78.0%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

	① 建築	② 電気設備	③ 機械設備			
33 主な建築・設備	屋根仕上:シート防水	受変電設備:屋内形	空調・放熱機器:ユニット形空調機、			
		発電設備:屋外形、ディーゼル式	パッケージ形空調機			
		警報設備:非常ベル	換気設備:三種換気			
			給水設備:高置水槽方式			
			給湯設備:ガス給湯器			
34 劣化度調査	外構フェンスの傾き					
	屋上壁材の剥離					
	建物内部の劣化					
35 定期点検						
36 改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】			給排水設備ほか改修(R6)【16】			
47 直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫					0百万円
	県債					12百万円
	一般財源					4百万円
	その他					0百万円
計		0百万円	0百万円	0百万円	16百万円	16百万円

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
48 ソフト(利用状況×経費効率)	廃止	施策上の必要性	高
49 ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
50 施設全体の方針	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			
51				

7 長寿命化等対策の方向性等

52 長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
53 主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
					・照明LED化	
54 概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	1.6 百万円	1.6 百万円
	国庫					0.0 百万円
	県債					0.0 百万円
	一般財源				1.6 百万円	1.6 百万円
	その他					0.0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1 施設名称	一関警察署		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	一関市山目字三反田30番 外1筆		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	該当
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
5 敷地面積	4,536.68 m ²		建築面積	618.63 m ²	延床面積	2,515.07 m ²
6 竣工年度 (建築年月)	1978年9月 (R7.4.1現在)		経過年数	46年	施設内棟数	2棟
7 設置根拠	有					
8 設置目的	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている一関警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎					
9 施設の概況	○ 1977年(S52)に民間から買入等により取得した敷地内に建築したRC造地上4階建庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫兼倉庫(RC2)、受水槽室(RC1)及び機械室(RC1)を設置					
10 未利用設備	無		大規模改修	無		
11 使用許可等の有無	無					
12 主要棟	名称	一関警察署			現況写真	
13	構造	RC造	種目	事務所建		
14	階数	地上	4階	地下		
15	建築面積	618.63 m ²	延床面積	2,515.07 m ²		
16	建築年月日	1978年9月	法定耐用年数	50年		
17	耐震診断	済	耐震改修	済		
18	その他特記事項					

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	93人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		94人	94人	94人	94人	94人
	施設利用対象者 マクロデータ ※管内人口	開設当時[A] (H27年1月時点)	81,007人	現在[B] (R6年1月時点)	73,005人	増減率 (マクロデータ)
						▲ 9.9%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	構成比			構成比		
		構成比	構成比		構成比	構成比
経常費用	51,058	100.0%	54,599	100.0%	48,034	100.0%
人件費	23,054	45.2%	24,147	44.2%	24,006	50.0%
物件費等	15,246	29.9%	16,795	30.8%	12,829	26.7%
維持修繕費	2,881	5.6%	3,784	6.9%	1,430	3.0%
減価償却費	9,877	19.3%	9,873	18.1%	9,769	20.3%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	51,058	100.0%	54,599	100.0%	48,034	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 51,058		▲ 54,599		▲ 48,034	

年間利用者数	94人	94人	93人
延床面積当たりコスト	20,301円/m ²	21,709円/m ²	19,098円/m ²
利用者1人当たりコスト	543,170円/人	580,840円/人	516,495円/人
(参考)県民1人当たりコスト	43円/人	46円/人	41円/人
有形固定資産減価償却率	81.0%	82.9%	84.9%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

番号:建物名称	庁舎棟			車庫棟		
構造 / 種目	RC造	事務所建	RC造	車庫建		
階数	地上	4階	地下	地上	2階	地下
建築面積	618.63 m ²			226.35 m ²		
延床面積	2,515.07 m ²			303.98 m ²		
建築年月	1978年9月	耐用年数	50年	1978年9月	耐用年数	38年
耐震診断 / 耐震改修	済	済		不要	不要	
その他特記事項						
主な建築・設備	建築	屋上仕上:シート防水		屋根仕上:シート防水		
	電気設備	受変電設備:屋外形、キュービクル式				
		発電設備:屋外形、ディーゼル式				
		警報設備:自動火災報知設備				
		EV設備:常用1基				
	機械設備	冷房方式:温水方式、局所冷房方式 (エアコン)				
		熱源方式:真空式温水発生器				
		給湯設備:中央式(機械室ボイラー)				
劣化度調査	建築	シート防水の劣化(R6改修)				
		外壁材の亀裂、剥離				
		建物内部の亀裂、腐食				
	電気設備					
		給水管、排水管の腐食				
定期点検	建築	屋上防水ほか改修(R6)[20]				
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 [百万円]	電気設備	照明器具交換(R6)[1]				
		空気調和設備改修(R1)[30]				
直近5年の維持修繕・改修費	機械設備	4階給水配管改修(R5)[3]				
令和2年度		令和3年度		令和4年度		合計
国庫						0百万円
県債				2百万円	16百万円	18百万円
一般財源				1百万円	6百万円	7百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	3百万円	22百万円	25百万円

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			

7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
		・トイレ改修	・給排水管修繕 ・受水槽改修設計	・給排水管修繕 ・受水槽改修	・給排水管修繕 ・照明LED化	

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要					
1 施設名称	千厩警察署	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	一関市千厩町千厩字石堂25番1	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課	運営形態	直営	防災施設等指定	該当
4 都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	近隣商業地域
5 敷地面積	4,359.54 m ²	建築面積	574.07 m ²	延床面積	1,768.03 m ²
6 施工年度 (建築年月)	1984年9月	経過年数 (R7.4.1現在)	40年	施設内棟数	1棟
7 設置根拠	有				
8 設置目的	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている千厩警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎				
9 施設の概況	○ 1983年(S58)旧東磐井郡千厩町から買入取得した敷地内に建築したRC造地上3階建の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫兼倉庫(RC1)、受水槽室(RC1)及び機械室(RC1)を設置				
10 未利用設備	無		大規模改修	無	
11 使用許可等の有無	無				
12	名称	千厩警察署	現況写真		
13	構造	RC造			
14	階数	地上 3階 地下			
15	建築面積	574.07 m ²			
16	建築年月日	1984年9月	法定耐用年数	50年	
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18	その他特記事項				

2 利用状況					
R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45
	職員数	37人		(職員数のうち団体等職員数)	
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 令和4年度 増減率 (R5/過去5年平均)
		42人	39人	38人	38人 37人 ▲ 4.6%
	施設利用対象者 マクロデータ ※管内人口	開設当時【A】 (H27年1月時点)	51,454人	現 在【B】 (R6年1月時点)	41,409人 増減率 (マクロデータ) ▲ 19.5%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	構成比		構成比		構成比	
経常費用	31,265	100.0%	32,493	100.0%	32,368	100.0%
人件費	11,697	37.4%	11,672	35.9%	11,843	36.6%
物件費等	11,669	37.3%	13,164	40.5%	12,883	39.8%
維持修繕費	590	1.9%	1,111	3.4%	1,391	4.3%
減価償却費	7,309	23.4%	6,546	20.1%	6,251	19.3%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	31,265	100.0%	32,493	100.0%	32,368	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 31,265		▲ 32,493		▲ 32,368	

年間利用者数	38人	37人	37人
延床面積当たりコスト	17,684円/m ²	18,378円/m ²	18,307円/m ²
利用者1人当たりコスト	822,763円/人	878,189円/人	874,811円/人
(参考)県民1人当たりコスト	26円/人	28円/人	28円/人
有形固定資産減価償却率	76.8%	78.6%	79.4%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

	① 建築	② 電気設備	③ 機械設備			
33 主な建築・設備	屋根仕上:シート防水	受変電設備:屋外形、キューピックル式	冷暖房設備:温水方式、局所冷房方式			
		発電設備:屋内形、ディーゼル式	(エアコン)			
		警報設備:自動火災報知設備	給水設備:高置水槽方式			
			給湯設備:中央式(機械室にボイラーを設置)、無圧式温水発生機			
34 劣化度調査	外構、外壁の劣化		1階空調設備の故障(R6修繕予定)			
	建物内部天井等の汚れ					
35 定期点検						
36 改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	屋上防水改修(R1)【16】	受変電設備改修(R3)【3】	下水道切替(R5)【12】			
			地下貯蔵タンク改修(R5)【3】			
			空調設備改修(R5)【6】			
47 直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫					0百万円
	県債		9百万円		11百万円	4百万円
	一般財源		1百万円		4百万円	2百万円
	その他					0百万円
計		0百万円	10百万円	0百万円	15百万円	6百万円
						31百万円

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
48 ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
49 ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
50 施設全体の方針	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			
51				

7 長寿命化等対策の方向性等

52 長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
53 主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
			・受変電設備改修		・照明LED化	
54 概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	2 百万円	0 百万円	0.9 百万円	2.9 百万円
	国庫					0.0 百万円
	県債		1.5 百万円			1.5 百万円
	一般財源		0.5 百万円		0.9 百万円	1.4 百万円
	その他					0.0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1 施設名称	大船渡警察署		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	大船渡市盛町字下館14番2		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部		運営形態	直営	防災施設等指定	該当
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	近隣商業地域
5 敷地面積	6,233.95 m ²		建築面積	643.90 m ²	延床面積	2,395.59 m ²
6 竣工年度 (建築年月)	1982年8月 (R7.4.1現在)		経過年数	42年	施設内棟数	2棟
7 設置根拠	有					
8 設置目的	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている大船渡警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政手令					
9 施設の概況	○ 1981年(S56)に大船渡市開発公社等から買入等で取得した敷地内に建築したRC造地上4階建の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫兼倉庫(RC2)、受水槽室(RC1)及びガスボンベ庫(RC1)を設置					
10 未利用設備	無		大規模改修	無		
11 使用許可等の有無	無					
12 主要棟	名称	大船渡警察署			現況写真	
13	構造	RC造	種目	事務所建		
14	階数	地上	4階	地下		
15	建築面積	643.90 m ²	延床面積	2,395.59 m ²		
16	建築年月日	1982年8月	法定耐用年数	50年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他特記事項					

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	58人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		56人	63人	62人	61人	58人
	施設利用対象者 マクロデータ ※管内人口	開設当時[A] (H27年1月時点)	65,325人	現在[B] (R6年1月時点)	55,309人	増減率 (マクロデータ)
						▲ 15.3%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	構成比			構成比		
		構成比	構成比		構成比	構成比
経常費用	40,733	100.0%	42,969	100.0%	41,900	100.0%
人件費	17,487	42.9%	16,724	38.9%	17,533	41.8%
物件費等	13,169	32.3%	15,296	35.6%	13,127	31.3%
維持修繕費	465	1.1%	1,342	3.1%	1,896	4.5%
減価償却費	9,612	23.6%	9,607	22.4%	9,344	22.3%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	40,733	100.0%	42,969	100.0%	41,900	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 40,733		▲ 42,969		▲ 41,900	

年間利用者数	61人	58人	58人
延床面積当たりコスト	17,003円/m ²	17,937円/m ²	17,490円/m ²
利用者1人当たりコスト	667,754円/人	740,845円/人	722,414円/人
(参考)県民1人当たりコスト	34円/人	36円/人	36円/人
有形固定資産減価償却率	78.4%	80.1%	81.7%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

番号:建物名称	庁舎棟			車庫棟		
構造 / 種目	RC造	事務所建	RC造	車庫建		
階数	地上	4階	地下	地上	2階	地下
建築面積	643.90 m ²			225.05 m ²		
延床面積	2,395.59 m ²			299.99 m ²		
建築年月	1982年8月	耐用年数 50年	1982年8月	耐用年数 38年		耐用年数
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要	不要	不要		
その他特記事項						
主な建築・設備	建築	屋根仕上:シート防水		屋根仕上:シート防水		
	電気設備	受変電設備:屋外形、キュービクル形				
		発電設備:屋外形、ディーゼル				
		警報設備:自動火災報知設備				
		EV設備:常用1基				
	機械設備	冷暖房方式:温水方式、局所暖房方式				
		(FFストーブ)、局所冷房方式(エアコン				
		空調・放熱機器:ファンコイルユニット				
劣化度調査	建築	排水設備:浄化槽				
	電気設備					
		空調設備老朽に伴う異音、故障等				
定期点検	建築					
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	電気設備					
	機械設備					
	建築	仮設倉庫本設(R1)[3]				
		玄関庇防水改修(R3)[2]				
直近5年の維持修繕・改修費	電気設備	受変電設備改修(R2)[3]				
	機械設備	地下貯蔵タンク改修(R3)[3]				
		空調設備改修(R6)[1]				
直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫					0百万円
	県債	2百万円	5百万円		1百万円	8百万円
	一般財源	1百万円				1百万円
	その他					0百万円
	計	3百万円	5百万円	0百万円	0百万円	9百万円

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			

7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	・空調設備改修工事	・屋上防水改修	・受変電設備改修			
概算費用(見込)	22百万円	8百万円	0百万円	0百万円	0百万円	30百万円
	国庫					0百万円
	県債	17百万円	6百万円			23百万円
	一般財源	5百万円	2百万円			7百万円
	その他					0百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1 施設名称	遠野警察署		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12				
2 所在地	遠野市東穀町248番1		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産				
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	該当				
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第二種中高層住居専用地域				
5 敷地面積	3,575.16 m ²		建築面積	723.75 m ²	延床面積	1,174.75 m ²				
6 施工年度 (建築年月)	1976年7月		経過年数 (R7.4.1現在)	48年	施設内棟数	1棟				
7 設置根拠	有									
8 設置目的	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている遠野警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎									
9 施設の概況	<p>○ 1975年(S50)、大蔵省からの買入等で取得した敷地内に建築したRC造地上2階の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫(S1)を設置</p> <p>○ 2003年(H15)、2008年(H20)に物置(S1)、2015年(H27)に倉庫3棟(S1)を増築</p>									
10 未利用設備	無			大規模改修	無					
11 使用許可等の有無	無									
12	名称	遠野警察署			現況写真					
13	構造	RC造	種目	事務所建						
14	階数	地上	2階	地下						
15	建築面積	723.75 m ²	延床面積	1,174.75 m ²						
16	建築年月日	1976年7月	法定耐用年数	50年						
17	耐震診断	済	耐震改修	不要						
18	その他特記事項									

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	29人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		36人	29人	30人	30人	30人
	施設利用対象者 マクロデータ ※署管内人口	開設当時【A】 (H27年1月時点)	29,107人	現 在【B】 (R6年1月時点)	24,528人	増減率 (マクロデータ)
						▲ 15.7%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	24,108	100.0%	23,854	100.0%	23,167	100.0%
人件費	8,864	36.8%	8,653	36.3%	8,508	36.7%
物件費等	10,067	41.8%	9,689	40.6%	9,912	42.8%
維持修繕費	673	2.8%	1,008	4.2%	243	1.0%
減価償却費	4,504	18.7%	4,504	18.9%	4,504	19.4%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	24,108	100.0%	23,854	100.0%	23,167	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 24,108		▲ 23,854		▲ 23,167	

年間利用者数	30人	30人	29人
延床面積当たりコスト	20,522円/m ²	20,306円/m ²	19,721円/m ²
利用者1人当たりコスト	803,600円/人	795,133円/人	798,862円/人
(参考)県民1人当たりコスト	20円/人	20円/人	20円/人
有形固定資産減価償却率	86.6%	88.7%	90.8%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

	① 建築	② 電気設備	③ 機械設備			
33 主な建築・設備	屋根仕上:シート防水	発電設備:屋内形、ディーゼル式	冷暖房:温水方式、局所暖房方式(FF			
		警報設備:自動火災報知設備	ストーブ)、局所冷房方式(エアコン)			
			給水設備:高置水槽方式、受水槽			
			排水設備:浄化槽			
			給湯設備:ガス給湯器			
34 劣化度調査	外壁材の劣化		空調設備の更新時期			
	建物内部の劣化(天井、階段等)					
35 定期点検						
36 改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	屋上防水部分補修(R5)【2】					
	ブロック塀改修(R1)【13】					
47 直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫					0百万円
	県債			1百万円		1百万円
	一般財源			1百万円		1百万円
	その他					0百万円
計		0百万円	0百万円	0百万円	2百万円	0百万円
						2百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
48 ソフト(利用状況×経費効率)		現状維持	施策上の必要性	高
49 ソフト×ハード(建物性能)		現状維持	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	更新
50 施設全体の方針	岩手県警察警察署再編等長期計画により庁舎建替を進めている紫波警察署・交通機動隊庁舎の次に老朽化の著しい施設であることから、今後、組織検討を踏まえ事業を進める。			

7 長寿命化等対策の方向性等

52 長寿命化等対策の方向性	岩手県警察警察署再編等長期計画により庁舎建替を進めている紫波警察署・交通機動隊庁舎の次に老朽化の著しい施設であることから、今後、組織検討を踏まえ事業を進める。					
53 主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
54 概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	国庫					0 百万円
	県債					0 百万円
	一般財源					0 百万円
	その他					0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要					
1 施設名称	金石警察署・沿岸運転免許センター・交通機動隊沿岸分駐隊	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	金石市中妻町三丁目1番	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課	運営形態	直営	防災施設等指定	該当
4 都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	近隣商業地域
5 敷地面積	13,642.12 m ²	建築面積	1,982.01 m ²	延床面積	4,503.24 m ²
6 竣工年度(建築年月)	2019年7月	経過年数(R7.4.1現在)	5年	施設内棟数	2棟
7 設置根拠	有				
8 設置目的	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている金石警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎				
9 施設の概況	○ 2017年(H29)、金石市及び新日鐵住金㈱から買入取得した敷地(旧昭和園グラウンド)内にRC造4階建の庁舎に警察署(留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備)、沿岸運転免許センター及び交通機動隊沿岸分駐隊の各庁舎を一体整備、付属施設として車庫兼倉庫(S2)、ゴミ分別庫(S1)を配置				
10 未利用設備	無	大規模改修	無		
11 使用許可等の有無	無				
12 主要棟	名称 金石警察署・沿岸運転免許センター・交通機動隊沿岸分駐隊	現況写真			
13 構造	RC造				
14 階数	地上 4階				
15 建築面積	1,982.01 m ²				
16 建築年月日	2019年7月				
17 耐震診断	不要				
18 その他特記事項					

2 利用状況					
R5 利用状況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45
	職員数	80人		(職員数のうち団体等職員数)	
	職員数の推移(直近5年間)	平成30年度 88人	令和元年度 82人	令和2年度 86人	令和3年度 84人
	施設利用対象者 マクロデータ ※管内人口	開設当時【A】 (H27年1月時点)	48,988人	現 在【B】 (R6年1月時点)	40,611人
				増減率 (マクロデータ)	▲ 17.1%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)					
行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度
		構成比		構成比	構成比
経常費用	124,030	100.0%	128,833	100.0%	126,868 100.0%
人件費	17,250	13.9%	17,538	13.6%	18,753 14.8%
物件費等	30,110	24.3%	34,798	27.0%	31,927 25.2%
維持修繕費	238	0.2%	65	0.1%	375 0.3%
減価償却費	76,432	61.6%	76,432	59.3%	75,813 59.8%
支払利息		0.0%		0.0%	
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0 0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%	
その他		0.0%		0.0%	
支出合計	124,030	100.0%	128,833	100.0%	126,868 100.0%
経常収益(直接的収入)	0-		0-		0-
使用料・手数料	-		-		-
その他	-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0-		0-		0-
資産売却益	-		-		-
その他	-		-		-
補助金等(間接的収入)	0-		0-		0-
国庫補助金	-		-		-
その他	-		-		-
収入合計	0-		0-		0-
年間コスト	▲ 124,030		▲ 128,833		▲ 126,868

年間利用者数	84人	82人	80人
延床面積当たりコスト	27,542円/m ²	28,609円/m ²	28,173円/m ²
利用者1人当たりコスト	1,476,548円/人	1,571,134円/人	1,585,850円/人
(参考)県民1人当たりコスト	104円/人	109円/人	109円/人
有形固定資産減価償却率	5.8%	8.0%	9.7%

(参考)岩手県の人口 (単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

番号:建物名称	庁舎棟			車庫棟					
構造 / 種目	RC造		事務所建		S造	車庫建			
階数	地上	4階	地下		地上	2階	地下	地上 地下	
建築面積	1,982.01 m ²			685.47 m ²					
延床面積	4,503.24 m ²			1,146.12 m ²					
建築年月	2019年7月	耐用年数	50年	2019年7月	耐用年数	31年	耐用年数		
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要		不要	不要				
その他特記事項									
主な建築・設備	建築	屋根仕上:アスファルト防水			屋根仕上:アスファルト防水				
		受変電設備:屋内形、キュービクル式							
		発電設備:屋内形、ディーゼル式							
	電気設備	太陽光発電設備(10kW)、蓄電池							
		EV設備:常用3基							
		熱源設備:空気熱源ヒートポンプ、							
		電気式(EHP)、ガス焚(GHP)							
		給水設備:加圧送水方式、受水槽							
		給湯設備:ガス給湯器、電気温水器							
劣化度調査	建築								
	電気設備								
定期点検	建築								
	電気設備								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築								
	電気設備								
直近5年の維持修繕・改修費	建築								
	電気設備								
	機械設備								
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計		
国庫							0百万円		
県債							2百万円	2百万円	
一般財源							1百万円	1百万円	
その他							0百万円		
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	3百万円	3百万円		

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。ただし、当該庁舎は耐用年数等から判断し現状維持とする。ただし、当該庁舎は耐用年数等から判断し現状維持とする。				

7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。ただし、当該庁舎は耐用年数等から判断し現時点改修計画はない。
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度 令和11年度 備考/合計
概算費用(見込)	0百万円 0百万円 0百万円 0百万円 0百万円 0百万円
国庫	
県債	
一般財源	
その他	

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1 施設名称	宮古警察署		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	宮古市松山第6地割4番1ほか		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	該当
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5 敷地面積	12,843.24 m ²		建築面積	1,173.48 m ²	延床面積	3,204.89 m ²
6 竣工年度 (建築年月)	2017年12月		経過年数 (R7.4.1現在)	7年	施設内棟数	2棟
7 設置根拠	有					
8 設置目的	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている宮古警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎					
9 施設の概況	○ 2014年(H26)民間から買入取得した敷地内に建築したRC造4階建の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫(S2)、ゴミ分別庫(RC1)を設置 ※ 同一敷地内に職員宿舎(RC3:18戸)を設置					
10 未利用設備	無		大規模改修	無		
11 使用許可等の有無	無					
12	名称	宮古警察署			現況写真	
13	構造	RC造	種目	事務所建		
14	階数	地上	4階	地下		
15	建築面積	1,173.48 m ²	延床面積	3,204.89 m ²		
16	建築年月日	2017年12月	法定耐用年数	50年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他特記事項					

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	95人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		103人	104人	100人	98人	95人
	施設利用対象者 マクロデータ ※管内人口	開設当時【A】 (H27年1月時点)	73,522人	現在【B】 (R6年1月時点)	61,106人	増減率 (マクロデータ)
						▲ 16.9%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	103,899	100.0%	108,297	100.0%	111,404	100.0%
人件費	18,849	18.1%	18,791	17.4%	19,077	17.1%
物件費等	27,771	26.7%	31,870	29.4%	32,731	29.4%
維持修繕費	626	0.6%	991	0.9%	2,951	2.6%
減価償却費	56,653	54.5%	56,645	52.3%	56,645	50.8%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	103,899	100.0%	108,297	100.0%	111,404	100.0%
経常収益(直接的収入)	0-		0-		0-	
使用料・手数料	-		-		-	
その他	-		-		-	
臨時利益(直接的収入)	0-		0-		0-	
資産売却益	-		-		-	
その他	-		-		-	
補助金等(間接的収入)	0-		0-		0-	
国庫補助金	-		-		-	
その他	-		-		-	
収入合計	0-		0-		0-	
年間コスト	▲ 103,899		▲ 108,297		▲ 111,404	

年間利用者数	98人	95人	95人
延床面積当たりコスト	32,419円/m ²	33,791円/m ²	34,761円/m ²
利用者1人当たりコスト	1,060,194円/人	1,139,968円/人	1,172,674円/人
(参考)県民1人当たりコスト	87円/人	92円/人	96円/人
有形固定資産減価償却率	9.1%	11.3%	13.6%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

番号:建物名称	庁舎棟			車庫棟				
構造 / 種目	RC造		事務所建		S造	車庫建		
階数	地上	4階	地下		地上	2階	地下	地上 地下
建築面積	1,173.48 m ²			540.02 m ²				
延床面積	3,204.89 m ²			1,018.96 m ²				
建築年月	2017年12月	耐用年数	50年	2017年12月	耐用年数	31年	耐用年数	
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要		不要	不要			
その他特記事項								
主な建築・設備	建築	屋根仕上:塗膜防水			屋根仕上:シート防水			
	電気設備	受変電設備:屋内形、キュービクル式						
		発電設備:屋内形、ディーゼル式						
		警報設備:自動火災報知設備						
		EV設備:常用1基						
	機械設備	冷暖房設備:冷温水方式(中央式冷暖房)、局所冷房方式(エアコン等)						
		排水設備:浄化槽						
		給湯設備:中央式、暖房用ボイラを兼用						
劣化度調査	建築							
	電気設備							
定期点検	建築							
	電気設備							
	機械設備							
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築							
	電気設備							
	機械設備							
直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計		
国庫	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円		
県債						0百万円		
一般財源						0百万円		
その他						0百万円		
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円		

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。 ただし、当該庁舎は耐用年数等から判断し現状維持とする。			

7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。 ただし、当該庁舎は耐用年数等から判断し、現時点改修計画はない。					
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
主な維持修繕・改修の内容						
概算費用(見込)	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円

※「主な維持修繕・改修の長寿命化対策の内容については、作成時点での予定であり、今後変更の可能性があるもの。」

1 施設概要

1 施設名称	岩泉警察署		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12				
2 所在地	岩泉町岩泉字太田18番3		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産				
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	該当				
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域				
5 敷地面積	4,144.25 m ²		建築面積	521.46 m ²	延床面積	1,786.10 m ²				
6 竣工年度 (建築年月)	1996年11月		経過年数 (R7.4.1現在)	28年	施設内棟数	2棟				
7 設置根拠	有									
8 設置目的	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている岩泉警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎									
9 施設の概況	○ 1995年(H7)、民間から買入取得した敷地内に建築したRC造地上4階建の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫兼倉庫(RC2)を設置									
10 未利用設備	無			大規模改修	無					
11 使用許可等の有無	無									
12 主要棟	名称	岩泉警察署			現況写真					
13	構造	RC造	種目	事務所建						
14	階数	地上	2階	地下						
15	建築面積	521.46 m ²	延床面積	1,786.10 m ²						
16	建築年月日	1996年11月	法定耐用年数	50年						
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要						
18	その他特記事項									

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	32人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 増減率 (R5/過去5年平均)
		33人	32人	32人	33人	32人 ▲ 1.2%
	施設利用対象者 マクロデータ ※管内人口	開設当時[A] (H27年1月時点)	13,952人	現 在[B] (R6年1月時点)	11,015人	増減率 (マクロデータ) ▲ 21.1%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	構成比		構成比		構成比	
経常費用	35,615	100.0%	38,813	100.0%	37,768	100.0%
人件費	11,074	31.1%	11,267	29.0%	11,025	29.2%
物件費等	10,105	28.4%	11,405	29.4%	11,781	31.2%
維持修繕費	948	2.7%	2,653	6.8%	1,474	3.9%
減価償却費	13,488	37.9%	13,488	34.8%	13,488	35.7%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	35,615	100.0%	38,813	100.0%	37,768	100.0%
経常収益(直接的収入)	0-		0-		0-	
使用料・手数料	-		-		-	
その他	-		-		-	
臨時利益(直接的収入)	0-		0-		0-	
資産売却益	-		-		-	
その他	-		-		-	
補助金等(間接的収入)	0-		0-		0-	
国庫補助金	-		-		-	
その他	-		-		-	
収入合計	0-		0-		0-	
年間コスト	▲ 35,615		▲ 38,813		▲ 37,768	

年間利用者数	33人	32人	32人
延床面積当たりコスト	19,940円/m ²	21,731円/m ²	21,146円/m ²
利用者1人当たりコスト	1,079,242円/人	1,212,906円/人	1,180,250円/人
(参考)県民1人当たりコスト	30円/人	33円/人	32円/人
有形固定資産減価償却率	54.0%	56.0%	58.1%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

番号:建物名称	庁舎棟			車庫棟		
構造 / 種目	RC造	事務所建	RC造	車庫建		
階数	地上	4階	地下	地上	2階	地下
建築面積	521.46 m ²			263.88 m ²		
延床面積	1,786.10 m ²			310.18 m ²		
建築年月	1996年11月	耐用年数	50年	1996年11月	耐用年数	38年
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要	不要	不要		
その他特記事項						
主な建築・設備	建築	屋上仕上:シート防水		屋根仕上:金属		
	電気設備	受変電設備:屋外形、キュービクル式				
		発電設備:屋内形、ディーゼル式				
		警報設備:自動火災報知設備				
	機械設備	冷暖房:局所暖房方式(FFストーブ)、				
		局所冷房方式(エアコン)				
		給水設備:加圧送水方式、受水槽				
		給湯設備:中央式;真空式温水発生機				
劣化度調査	建築					
	電気設備	外灯一部不良				
		非常用照明一部不良				
定期点検	機械設備	3階系統空調機不良				
	建築					
改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	電気設備			R4.1 車庫建築点検 外壁仕上が破損し穴が開いている コーナー役物劣化		
				R6.2 車庫建築設備点検 指摘なし		
	機械設備			R6.2 車庫建築設備点検 外部照明器具不点灯 交通警報器室照明器具不点灯		
直近5年の維持修繕・改修費	建築					
	電気設備					
	機械設備					
	空調設備改修(R6)【3】					
直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫					0百万円
	県債					2百万円
	一般財源					1百万円
	その他					0百万円
	計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	3百万円

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			

7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
・空調設備改修	・非常用自家発電 装置更新 ・非常放送設備、 消防用設備改修	・受変電設備改修				
概算費用(見込)	10百万円	16百万円	13百万円	0百万円	0百万円	39百万円
国庫						0百万円
県債	7百万円	12百万円	10百万円			29百万円
一般財源	3百万円	4百万円	3百万円			10百万円
その他						0百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1 施設名称	久慈警察署・県北運転免許センター	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2 所在地	久慈市門前第3地割1番	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3 所管課	警察本部会計課	運営形態	直営	防災施設等指定	該当
4 都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
5 敷地面積	11,818.46 m ²	建築面積	1,610.47 m ²	延床面積	3,565.05 m ²
6 竣工年度(建築年月)	2022年3月	経過年数(R7.4.1現在)	3年	施設内棟数	2棟
7 設置根拠	有				
8 設置目的	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている久慈警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する仕事を適正に執行するため必要となる行政庁舎				
9 施設の概況	○ 2018年(H30)、買入取得した民有地内にRC造4階建の庁舎に警察署(留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備)、県北運転免許センターを一体整備、付属施設として車庫兼倉庫(S2)、駐輪場(RC1)、ゴミ集積場(RC1)、受水槽ポンプ室(S1)を配置 ○ 新庁舎は、令和4年3月完成、令和5年5月運用開始				
10 未利用設備	無	大規模改修	無		
11 使用許可等の有無	無				
12 主要棟	名称 久慈警察署・県北運転免許センター	構造 RC造	種目 事務所建	現況写真	
13	階数 地上	4階	地下		
14	建築面積 1,610.47 m ²	延床面積 3,565.05 m ²			
15	建築年月日 2022年3月	法定耐用年数 50年			
16	耐震診断 不要	耐震改修 不要			
17	その他特記事項				
18					

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)	開館時間	9:00~17:45	
	職員数	54人	(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移(直近5年間)	平成30年度 令和元年度	令和2年度 令和3年度 令和4年度	令和4年度 増減率 (R5/過去5年平均)	53人 1.9%
	施設利用対象者 マクロデータ ※管内人口	開設当時[A] (H27年1月時点)	62,619人 現在[B] (R6年1月時点)	53,388人 増減率 (マクロデータ)	▲ 14.7%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度
		構成比		構成比	構成比
経常費用	0-		107,842	100.0%	111,078
人件費	-		22,004	20.4%	20,019
物件費等	-		23,111	21.4%	28,206
維持修繕費	-		69	0.1%	195
減価償却費	-		62,658	58.1%	62,658
支払利息	-			0.0%	0.0%
臨時損失	0-		0	0.0%	0
災害復旧事業費	-			0.0%	0.0%
その他	-			0.0%	0.0%
支出合計	0-		107,842	100.0%	111,078
経常収益(直接的収入)	0-		0-		0-
使用料・手数料	-		-		-
その他	-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0-		0-		0-
資産売却益	-		-		-
その他	-		-		-
補助金等(間接的収入)	0-		0-		0-
国庫補助金	-		-		-
その他	-		-		-
収入合計	0-		0-		0-
年間コスト	0	▲ 107,842		▲ 111,078	

年間利用者数	0人	53人	54人
延床面積当たりコスト	0円/m ²	30,250円/m ²	31,157円/m ²
利用者1人当たりコスト	#DIV/0!	2,034,755円/人	2,057,000円/人
(参考)県民1人当たりコスト	0円/人	91円/人	96円/人
有形固定資産減価償却率	%	2.4%	4.8%

(参考)岩手県の人口	(単位:人)
R3	R4

1,196,277 1,180,512 1,163,024

4 施設内建物の概要

番号:建物名称	庁舎棟			車庫棟				
構造 / 種目	RC造		事務所建		S造	車庫建		
階数	地上	4階	地下		地上	2階	地下	地上 地下
建築面積	1,610.47 m ²			510.83 m ²				
延床面積	3,565.05 m ²			732.29 m ²				
建築年月	2022年3月	耐用年数	50年	2022年3月	耐用年数	31年	耐用年数	
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要		不要	不要			
その他特記事項								
主な建築・設備	建築	屋上仕上:シート防水		屋根仕上:シート防水				
	電気設備	受変電設備:屋外形キューピックル						
		発電設備:屋外形ディーゼル式、高圧						
		警報設備:自動火災報知設備						
		EV設備:2基						
	機械設備	空調設備:EHPマルチエアコン、外気						
		処理エアコン、全熱交換ユニット						
		給水設備:鋼板製受水槽						
		給湯設備:中央式給湯ヒーター+貯湯						
劣化度調査	建築							
	電気設備							
定期点検	建築							
	電気設備			R6.2 車庫建築設備点検 ハンドホール内水溜り有り				
	機械設備			R6.2 車庫建築設備点検 指摘なし				
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築							
	電気設備							
	機械設備							
直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計	
	国庫	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	
	県債						0百万円	
	一般財源						0百万円	
	その他						0百万円	
	計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	

5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。 ただし、当該庁舎は耐用年数等から判断し現状維持とする。			

7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。 ただし、当該庁舎は耐用年数等から判断し、現時点改修計画はなし。					
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
主な維持修繕・改修の内容						
概算費用(見込)	0百万円	0.0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要

1 施設名称	二戸警察署		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12				
2 所在地	二戸市金田一丁目302番6		施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産				
3 所管課	警察本部会計課		運営形態	直営	防災施設等指定	該当				
4 都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	工業地域				
5 敷地面積	4,784.02 m ²		建築面積	730.16 m ²	延床面積	2,226.93 m ²				
6 竣工年度 (建築年月)	2010年12月		経過年数 (R7.4.1現在)	14年	施設内棟数	2棟				
7 設置根拠	有									
8 設置目的	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている二戸警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎									
9 施設の概況	○ 2008年(H20)、民間から買入取得した敷地内に建築したRC造地上5階建の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫(S2)、ゴミ置場(RC1)を設置									
10 未利用設備	無			大規模改修	無					
11 使用許可等の有無	無									
12 主要棟	名称	二戸警察署			現況写真					
13	構造	RC造	種目	事務所建						
14	階数	地上	5階	地下						
15	建築面積	730.16 m ²	延床面積	2,226.93 m ²						
16	建築年月日	2010年12月	法定耐用年数	50年						
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要						
18	その他特記事項									

2 利用状況

R 5 利 用 状 況	開館日	平日(年末年始、休日を除く)		開館時間	9:00~17:45	
	職員数	46人		(職員数のうち団体等職員数)		
	職員数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		47人	46人	48人	48人	46人
	施設利用対象者 マクロデータ ※管内人口	開設当時[A] (H27年1月時点)	58,872人	現在[B] (R6年1月時点)	48,987人	増減率 (マクロデータ) ▲ 16.8%

3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	52,205	100.0%	50,871	100.0%	51,392	100.0%
人件費	19,561	37.5%	17,878	35.1%	16,563	32.2%
物件費等	17,920	34.3%	19,029	37.4%	19,234	37.4%
維持修繕費	984	1.9%	224	0.4%	1,855	3.6%
減価償却費	13,740	26.3%	13,740	27.0%	13,740	26.7%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
支出合計	52,205	100.0%	50,871	100.0%	51,392	100.0%
経常収益(直接的収入)	0-		0-		0-	
使用料・手数料	-		-		-	
その他	-		-		-	
臨時利益(直接的収入)	0-		0-		0-	
資産売却益	-		-		-	
その他	-		-		-	
補助金等(間接的収入)	0-		0-		0-	
国庫補助金	-		-		-	
その他	-		-		-	
収入合計	0-		0-		0-	
年間コスト	▲ 52,205		▲ 50,871		▲ 51,392	

年間利用者数	48人	46人	46人
延床面積当たりコスト	23,443円/m ²	22,844円/m ²	23,078円/m ²
利用者1人当たりコスト	1,087,604円/人	1,105,891円/人	1,117,217円/人
(参考)県民1人当たりコスト	44円/人	43円/人	44円/人
有形固定資産減価償却率	26.2%	28.4%	30.5%

(参考)岩手県の人口
(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

番号:建物名称		庁舎棟			車庫棟														
34	構造 / 種目	RC造		事務所建		S造		車庫建											
35	階数	地上	5階	地下		地上	2階	地下	地上										
36	建築面積	730.16 m ²			466.50 m ²														
37	延床面積	2,226.93 m ²			498.68 m ²														
38	建築年月	2010年12月	耐用年数	50年	2010年12月	耐用年数	31年												
39	耐震診断 / 耐震改修	不要	不要		不要	不要													
40	その他特記事項																		
41	主な建築・設備	建築	屋根仕上:シート防水		屋根仕上:金属														
42																			
43																			
44																			
45		電気設備	受変電設備:屋内形、キュービクル式																
46																			
47																			
48																			
49		機械設備																	
50																			
51																			
52																			
53																			
54	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計												
55	国庫	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円												
56	県債						0百万円												
57	一般財源						0百万円												
58	その他						0百万円												
59	計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円												

5 施設評価

1次評価(定量評価)		評価・分析結果		2次評価(定性評価)		評価結果	
47 ソフト(利用状況×経費効率)		現状維持		施策上の必要性		高	
48 ソフト×ハード(建物性能)		現状維持		代替の可能性		高	

6 今後の方向性(たたき台)

54 施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
	施設の状況を把握し、計画的な更新などの長寿命化と施設配置の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化に配意しながら、長期的な視点に立った整備を進める。			

7 長寿命化等対策の方向性等

56 長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や警察施設の特殊性を総合的に勘案し、施設に求められる機能の維持・強化を図るため、経費負担の平準化に配慮しつつ、統一周期での修繕(更新)等、計画的な長寿命化対策を実施する。					
57 主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
			・受変電設備改修			
58 概算費用(見込)	0百万円	0百万円	1.1百万円	0百万円	0百万円	1.1百万円
	国庫					0.0百万円
59	県債			0.8百万円		0.8百万円
60	一般財源			0.3百万円		0.3百万円
61	その他					0.0百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

※公共施設カルテは、公共性が高くかつ施設規模が大きい一般庁舎のみ掲載した。